WPBC

キン肉(にく)マンII世

究極の超人タッグ編

22

ゆでたまご

WPBC
キン肉(にく)マンII世
究極の超人タッグ編
22
ゆでたまご

集英社

9784088575056

1929979005146

ISBN978-4-08-857505-6

C9979 ¥514E

定価 本体514円十税

雑誌 43421－17

22 禁断の親子対決を制し、決勝へとコマを進めた万太郎&カオス！ 残る一枠は、ネプチューンマン&マンモスマン「新星(ノヴァ)・ヘル・イクスパンションズ」vsライトニング&サンダー「世界五大厄(ファイブ・ディザスターズ)」の悪行超人同士の戦いで決する事に！ ルール無用のデスマッチは、イクスパンションズの奇襲攻撃で、ゴングを待たずに試合開始！ 邪悪リミッター全開の“最凶最悪決定戦”の行方は…!?

キン肉マンII世 究極の超人タッグ編 22

CONTENTS

あ――っと
これは前代未聞の暴挙
入場途中の〝世界五大厄(ファイブ・ディザスターズ)〟
ライトニング＆サンダーを

第233話
進化する完璧超人(パーフェクト)、ネプチューンマン!!

〝新星(ノヴァ)・ヘル・イクスパンションズ〟
ネプチューンマン＆
マンモスマンが
空中から急襲――っ

この戦いは
地上最凶最悪の
悪行超人を
決めようって
一戦なんだぜ

相手を敬うなんて
ことがそもそも
間違ってるんだよ

あらゆる反則行為が
OKとされる
デスマッチルールが
ふさわしい——っ!

ネプチューンマン&マンモスマン
太鼓の乱れ打ちで
“世界五大厄(ファイブ・ディザスターズ)”にさらに
追いうちをかける——っ

アワワワ

ヘル・イクスパンションズは
リーダーである
ネプチューンマンが

自分の本来の
パートナーである
セイウチンの非情に
なりきれぬ姿に
業を煮やし

そのまま
セイウチンを見捨て
ウォーズマンの
パートナーであった
マンモスマンを

自分の
正パートナーとして
略奪！

獣性と知性を
併せ持つマンモスマンを
得たことで

〃新星・ヘル・
イクスパンションズ〃となり
より最凶最悪のチームとして
膨張したのはご存じの通り！

同じ最凶最悪を目指すチームの争いだが…

〃世界五大厄〃のようにただ血を好むだけの悪行超人と一緒にしないでくれ

オレたちは知性も非情さも持ち併せた完璧なる悪行超人タッグなんだ!

だからオレたちのチームはタッグとしてだけでなく個々の強さも際立っていなければならない!

バカもの〜〜〜っ いくら〃最凶最悪チーム決定戦〃といっても

入場セレモニーをぶち壊し 相手を襲っていいなんてルール超人委員会は許可した覚えはないぞ——っ!

やめなさーい!

ザッ

しかし 最凶最悪を標傍するもう1チーム"世界五大厄(ファイブ・ディザスターズ)"リーダーライトニングもただやられているだけではないーーっ！

ネプチューンマンの太鼓の乱れ打ちをよけたーーっ！

ジョワ〜〜〜ッ

ライトニング から空きのネプチューンマンの右テンプルめがけフックを放つーーっ！

しかし 間一髪ネプチューンマンこれをよけたーーっ

そして
ワンハンド・スピン・スラムの体勢に
抱え上げた――っ！

グググッ

ナンバーワーン！

ワッ

ネプチューンマン
自らの体を回転させ
その反動で
ライトニングの体を

トーナメントマウンテンめがけて
投げた――っ

ダダーン

トーナメントマウンテン準決勝第2試合用のウォーキューブにライトニングが激突し

耐圧ガラスが大破——っ!

体重は不明とされるがおそらく100kg以上はあると見られるライトニングを

いとも簡単にあんなに遠くへ放り投げるなんてすごいパワーだ!

あ…ああ〜〜〜っ

ヌウワァァ!

マンモスマンの鳩尾(みぞおち)にソバットを入れて太鼓の乱れ打ちからサンダーが脱出——っ!

何が知性だぁ〜〜〜っ
マンモスなんて
小いせえ脳ミソしか
詰まってねえくせに〜〜〜っ
早く
やめさせんか――っ
サンダー
フライング・ボディプレスで
マンモスマンの体を潰しに
かかる――っ
脳ミソが
足りねえのは
おまえの方だ――っ!
イヤー
ガストーーッ!
しかし
マンモスマン
巨大耳を勢いよく閉じ
突風を起こす――っ

ヌ…
サンダー
その突風によって
トーナメントマウンテン
準決勝第2試合の
ウォーキューブに
向かって
飛んでいく――っ!
ヌワッ

ヌウァアア〜〜〜ッ

こ…こんなところにいたら
命がいくつあっても
足りないよ〜〜〜っ

グフフフ　本来なら
トーナメントマウンテンの
麓より階段を使って

ウォーキューブリング上まで
行かなくてはいけないのに
その手間を省いてやったんだから
感謝してもらわねば

パン
パン

マ…マンモスマンもすごい
あの巨漢のサンダーを
巨大耳の作り出す

突風だけで
あそこまで
飛ばすんだから…

う…うん

あの時の20世紀 ネプチューンマンは 最強の座に就くためには

あらゆる手段を選ばず 若さにまかせただけの 粗野で乱暴な 超人でしかなかったか…

今の この落ち着きはらった様はどうだ
さすがに34年後の未来からやってきたというだけあって
2週間前とは違う…顔にも戦歴を物語る深いシワが刻み込まれている

しかし腕や胸板脚のでかさは

若い頃よりすごい…
それに20世紀ネプチューンマンは常に世に対してイラついていたところがあったが
今の この何に対しても動じない堂々とした佇まい…年を取るごとにストイックに肉体を磨き上げて超人力を増した結果だろう!

ネプチューンマンは
年を取ることで
より完璧超人へと
近づいていっているのかも
しれない!

あ――っと
ネプチューンマンと
マンモスマンも
トーナメント
マウンテン目指して
大きくジャンプ――ッ
バッ
ザッ
バッ
ア
ア
ガッ
シ

今 新星・ヘル・イクスパンションズが準決勝第2試合の
ノヴァ
ウォーキューブに入った――っ
バゴォオーーッ
グッ
入場セレモニーを破壊して一気に4人の極悪超人がリングイン
まさに最凶最悪超人タッグ決定戦らしい波乱の展開〜〜〜っ！
ズドーン
スウリャアア〜〜〜〜〜ッ！

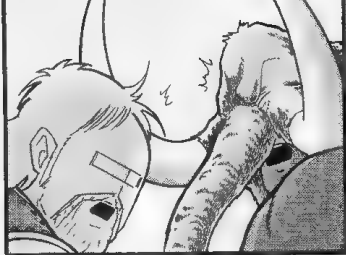
21世紀
ネプチューンマン
新たに狩り始めた
超人の顔の皮
コレクション
マントを

いつもの儀式通り
リングの天井に
貼りつけた――っ！

狩り獲って
やるぜ〜〜っ
おまえたちふたりの
極悪面もな〜〜っ！

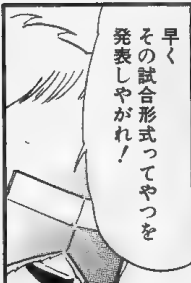
グイ

覆面狩人(マスクハンター)ネプチューンマンの
仮面を剝(は)ぐというのも
面白いとは思わねえか〜〜っ？

さあ 4人 今にも
一触即発の状態だ
――っ！

待て 待て
真の"最凶最悪のチーム"を決めるには 完全決着のつけられる それにふさわしいリングが必要

この"最凶最悪チーム決定戦"の試合形式に関しては"世界五大厄"ライトニング&サンダーがあるデスマッチルールを提案してきた!

なんでオレたちのネプチューンマンとマンモスマンが
時間超人の提案したルールで戦わなくちゃいけねーんだよ
クロスボンバー
どこまでも汚えやつらめ——っ

早く その試合形式ってやつを発表しやがれ!

しかし このデスマッチルール"新星・ヘル・イクスパンションズ"が乗るかどうかは自由
却下もOKとの"世界五大厄"からの提案だ!

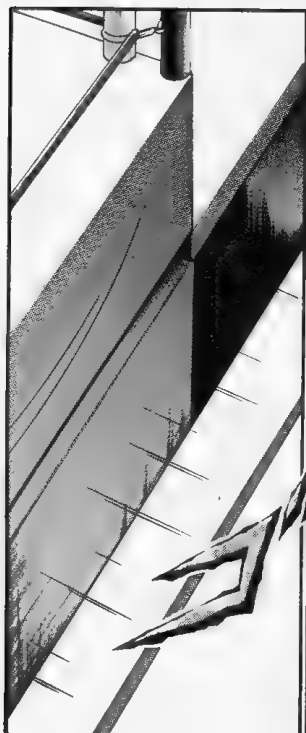
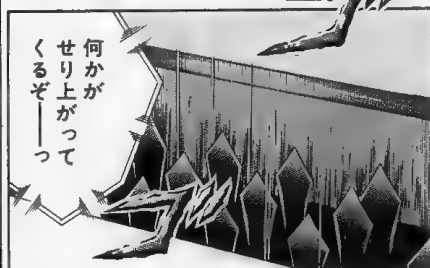
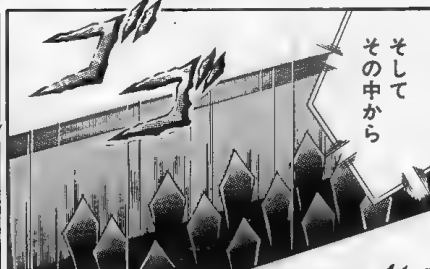
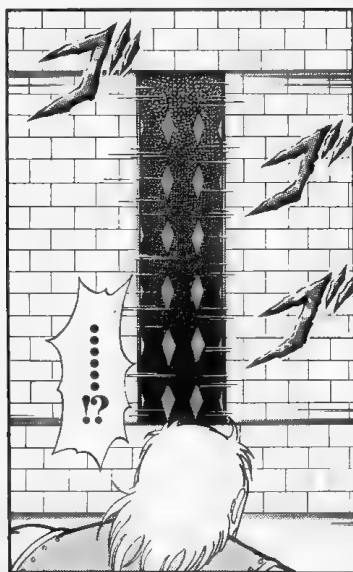
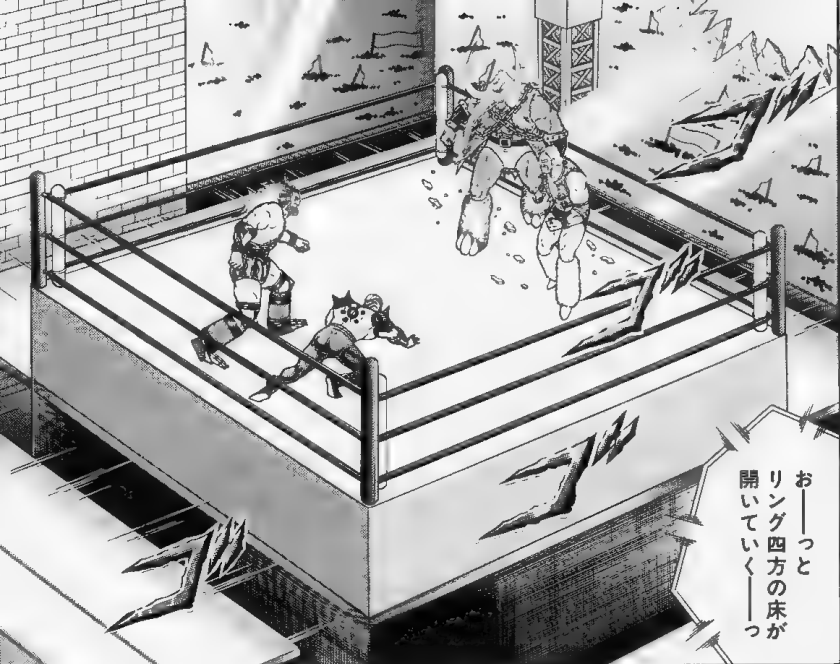
グイン
これが そのデスマッチの舞台じゃーーっ

キャアアーーッ
すごい音〜〜っ
ウォーキューブの方からだーーっ!
雷斗

お――っと
リング四方の床が
開いていく――っ

そして
その中から

何かが
せり上がって
くるぞ――っ

……!?

ゴゴ
さらに左右の壁背後の壁にも
ゴゴ
四角い穴があき
何かがせり出してくる——っ
ゴ
ゴ
剣だ——っ 無数の剣が打ちつけられた剣山板がリングを囲む床
そして三面の壁から現れた——っ！

あ──っと
リング四方の床
そして左右
背後の壁が
第234話
剣山デスマッチ、再び!!
夥しい数の
剣山の板に
囲まれた──っ!
ジョワ
ジョワ
バコッ
グ…
グム〜〜〜ッ
ヌワ
ヌワ

やつらが
要求してきたのと同じ
ソードデスマッチ
だ——っ！

“ソードデスマッチ”っていやあ
ネプチューンマンに仮面を授けた
完璧超人総帥ネプチューンキングが
考案した試合方法であり

同じく完璧超人
ネプチューンマン自身も
最も得意としていた
デスマッチルール！

そんな新星・ヘル・イクスパンションズの得意なデスマッチを提案してくるとは
よほどの大バカ者か酔狂者だぜ〜〜〜っ
本当だ時間超人ってアホだな〜〜っ
いいや あの二人組がワザワザ敵の得意なデスマッチを
要求してくるのにはそれなりの理由がある
エッ!?
このソードデスマッチは一見ネプチューンマンの得意とする試合方法に観客の目には映るが
しかし〝宇宙超人タッグトーナメント〟においてザ・マシンガンズにこのルールによって敗れたイヤな思い出のある試合方法でもある
そうか!

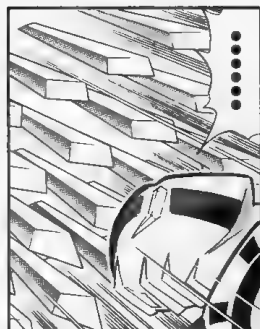
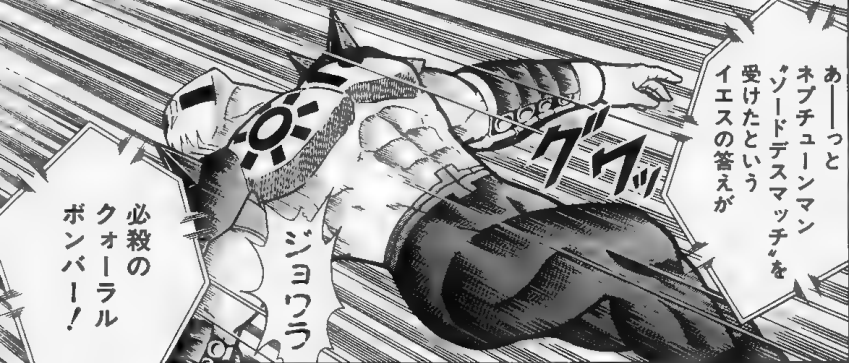
そうか～～っ
この〝ゾードデスマッチ〟は
ネプチューンマンにとっては
まさに〝諸刃の剣〟
一般的イメージでは
ネプチューンマンは
このデスマッチの
スペシャリスト…
受けて当然 しかし受けなければ
ネプチューンマン&マンモスマンは
弱虫チームのレッテルを
貼られてしまう
しかしキン肉マン&テリーマンに敗れた
トラウマの残る試合方法でもあり
むしろライトニング&サンダーに
有利に働く場合もある!
……
さすがは
最凶最悪の
呼び声が高い
ライトニング&
サンダーだ!
あえて
相手チームの
得意な試合方法を
自分たちから
要求するなんて
ニクイぜ～～っ
オレたちゃ ますます
〝世界五大厄〟ファンに
なっちまったぜ——っ
ライトニング
ライトニング
サンダ——ッ
サンダ——ッ

ネプチューンマン!
ネプチューンマン!
マンモスマン!
マンモスマン!
ライトニング!
ライトニング!
サンダー——!
サンダー——!
ワ
ワ
ワ
ワ
ワ
こ…これは普段では
絶対に見られない
光景——っ
ライト
ニング!
サンダー!
場内に叫ぶことも汚らわしい
悪行超人4選手の名前が
コールされ交錯する——っ
ここには神も仏も
いないのか〜〜っ!?
全部が策士の
ライトニングと
サンダーの
狙い通り!
いったい
どこまで
うす汚れた
やつらなんだ!

ライトニング!
ライトニング!
どうしたぁ〜〜〜
てめえらの得意な
デスマッチを
提案してやったというのに
そのうろたえぶりは〜〜〜っ
もしや 絶対有利な
ルールを
拒否するつもりでは
あるまいな?
サンダ——!
サンダ——!
おい
聞いてる…
これがオレの
答えだ——っ
クォーラル
ボンバ
——ッ!!

さあ 剣山板
犠牲者第1号は
〝世界五大厄〟リーダー
ライトニングか〜〜〜っ!?

・・・・・・

ひゃ・・・

あ――っと
ライトニング 剣山板
落下ギリギリのところで
両脚をトップロープに
ひっかけて
これを回避――っ!
ガッ
これが
最凶最悪を目指す
超人の姿だ――っ!
ザッ
これから悪行超人を
目指す超人たちは
ようく見るがいい
オレたちこそ
まだ誰も手にしたことのない
このトーナメントマウンテン頂上に
突き刺さるトロフィー球根を
掌中にして
不老不死で最凶最悪
なおかつ知性を併せ持つ
完璧超人と
なってみせる〜〜〜っ!

来るものは拒まぬ
完璧超人界再興の
旗のもとに
集うのだ——っ!

クォーラル
ボンバ——ッ!

剣山への転落を
免れるため
トップロープに
ひっかけている
ライトニングの両脚めがけ

クォーラル
ボンバーを放つ
ネプチューンマン!

そして
ネプチューンマンの
頭上を通り越しざま
両脚蹴りを
後頭部に入れた
――っ

い…委員長！
最凶最悪の4人が入り乱れたら最後試合終了まで誰にも止められん…
ならば混乱の中でもゴングを鳴らすのみ…
さあ リング上大混乱の中でゴングが鳴った〜〜〜っ
究極の超人タッグ戦 準決勝 第2試合
〝新星・ヘル・イクスパンションズ〟（ネプチューンマン マンモスマン） VS 〝世界五大厄〟（ライトニング サンダー）

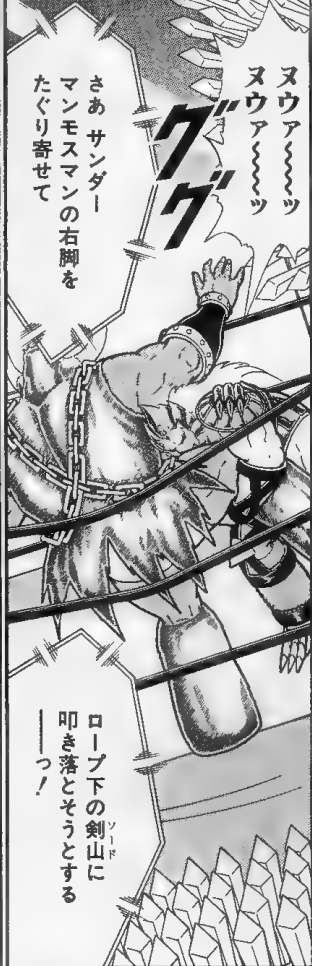
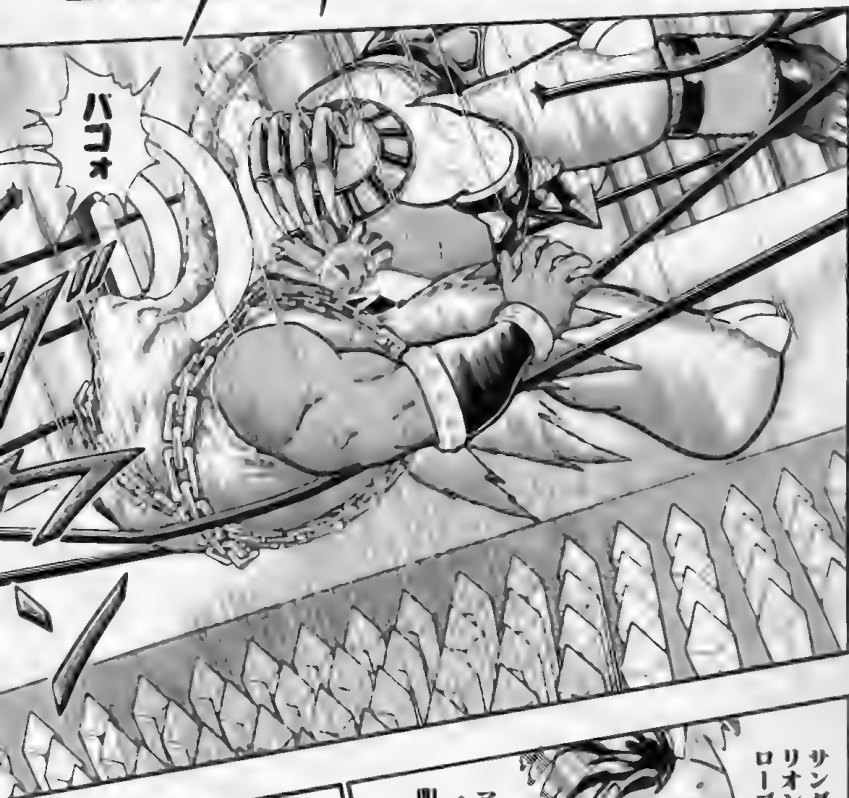
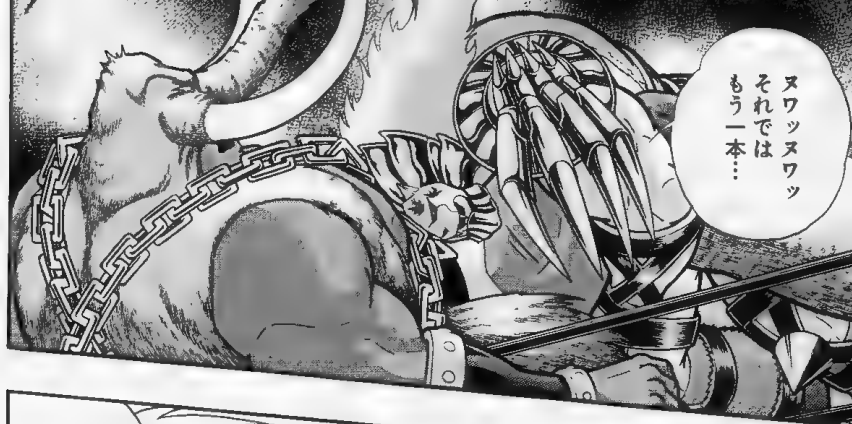
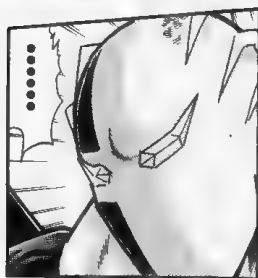
ドドド
さあ
グラつく
ネプチューンマンに
対して
サンダー
正面より
ショルダータックルだ
――っ
ドド
おっさん 新星・ヘル・
イクスパンションズの
タッグの信念は
助け合うことではなく
個々の超人の力を
あくまで示すこと
だったな!
あ…ああ
そうだ!
これはあんたを
助けるんじゃねえ!
自分の強さと
凶悪さを満天下に
示すためだ――
っ!
ドゴ
マンモスマンの肉塊と
サンダーの肉塊が
激しくぶつかり合う
〜〜〜〜っ!

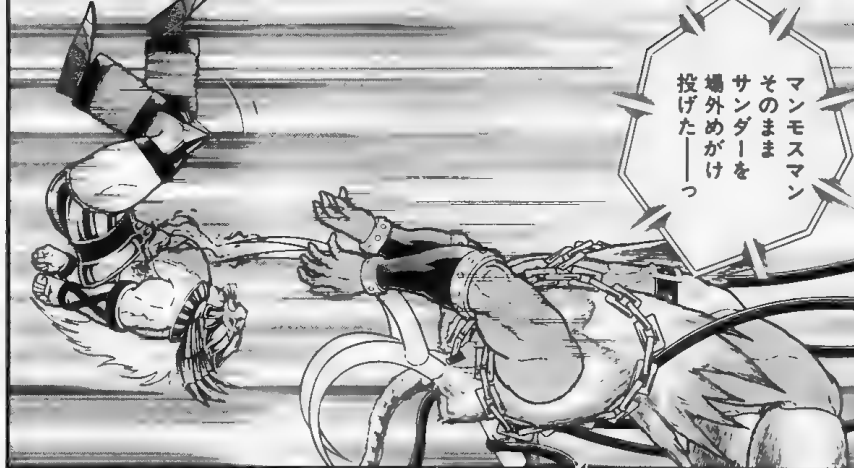
ス…スゴい
マンモスマンと
サンダーが
ぶつかり合っただけで

まるで
地震のように
ここまで揺れが…

グラッ
〝世界五大厄〟サンダーだ〜〜〜っ！

ヌワアアーーッ
ガシィ
さあ〜〜〜っ
サンダー ヨロめく
マンモスマンに対し
片脚タックルだ
ーーっ！
グググッ
マンモスマン
押し込まれながらも
なんとかそれを
耐えぬき
ロープからの
落下を逃れた
ーーっ！
フェ〜〜〜ッ
あぶねえ
あぶねえ

ヌウア〜〜ッ
ヌウア〜〜〜ッ
グググ
さあ サンダー マンモスマンの右脚を たぐり寄せて
ロープ下の剣山(ソード)に 叩き落とそうとする ——っ！
バゴオ バゴオ
しかし マンモスマン 片脚を取られたまま 驚異のバランスで
サンダーめがけ 強烈なパンチを 当てる——っ！

正義超人どもの言う「1+1が10にも20にもなるのが友情パワー」などという考えは幻想にすぎん
パートナーへの甘えを生むだけ
パートナーひとりひとりが100の強さを持ち200の強さで敵を圧倒するのが我ら完璧超人なのだ!
ヌワッタラ〜〜〜ッただのオツムの足りねえケダモノ野郎と思っていたが
やるじゃねえか〜〜〜っ
しかしオレにはかなわねえ
リオンフィンガー
あ——っとサンダー 左肩の獅子の爪を伸ばしていく——っ

ブチィ
バコォ
サンダーのやつ
リオンフィンガーで
ロープを切断して
マンモスマンの体を
一気に剣山地獄へ
叩き落とすつもりだ
バ…
バコ…

ヌワッヌワッ
それでは
もう一本…
さあ〜〜っ サンダー
リオンフィンガーで
セカンドロープも切断に
かかる——っ
……
こいつを
切断しちまえば
おまえはおしま…
ヌゴワッ
……

ブランチタスク〜〜〜ッ
グググ
あーーっとマンモスマンのビッグタスクが途中で枝分かれして
サンダーの固い固い脇腹の皮膚に刺さっている───っ
言っているだろうオレたちはチームとしてでなく
個自体が卓越した強さを持つ完璧な者同士の結託であると
ガギィ
ググア
ビッグタスクスープレックス───ッ!

マンモスマン
そのまま
サンダーを
場外めがけ
投げた──っ
あ──っと
最初の剣山地獄の
犠牲者は
〝世界五大厄〟の
サンダーだ〜〜っ!

"世界五大厄"サンダー
"新星・ヘル・イクスパンションズ"
マンモスマンを
剣山地獄へ
叩き落とすつもりが
逆に自分が
落とされた――っ!
第235話
悪行超人の意地!!
サンダ――ッ!
ま…まさかサンダーが
最初の剣山板の
犠牲者になるなんて
〜〜っ!

タッグはコンビネーションの良さによって1＋1を10にも20にも増幅することができるという

軟弱超人どもの鉄則があるがそんなものは幻想にすぎねえ

パートナー個々が100の力を持っていれば100＋100で200となる

だからこういうふうに差がついてしまうのよ〜〜〜っ

わ…私たちは13日前にこのソードデスマッチを経験し実際に剣山板に落ちたことがあるのでわかるが

痛いなんて表現では生やさしすぎる

そう…首から下が爆弾で吹き飛ばされたような衝撃…思い出したくもないぜ…

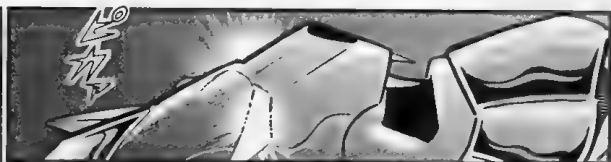
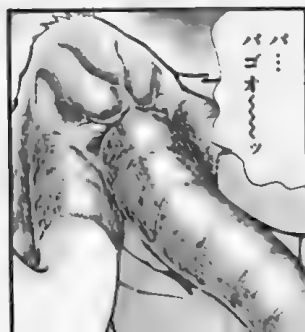
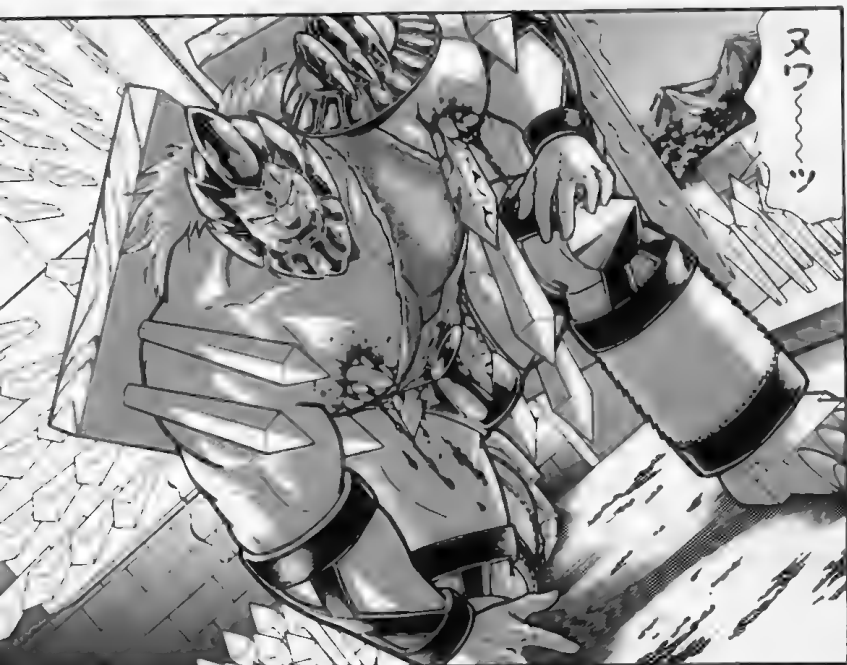
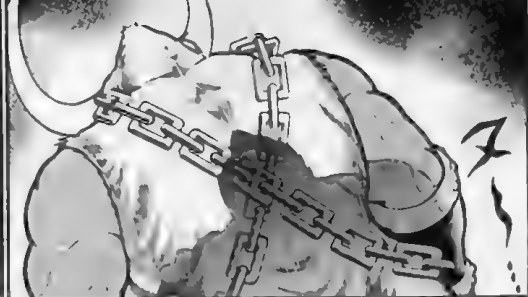
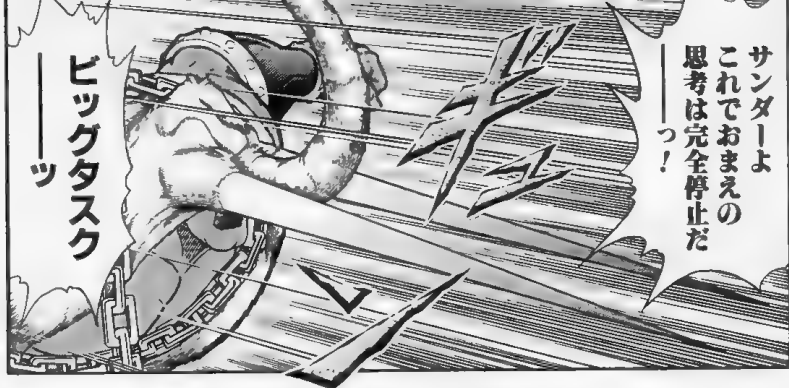
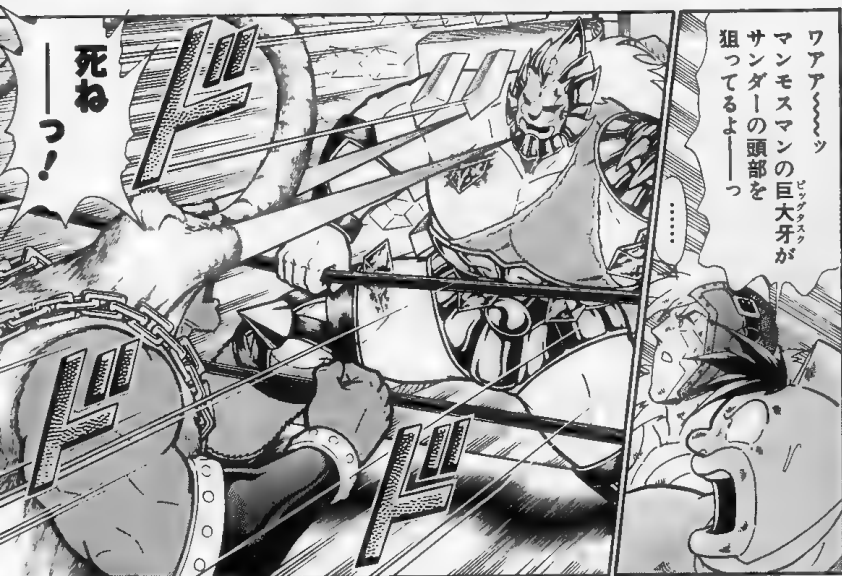
あ〜〜っと
場外カウントが
どんどん進む
〜〜っ！
サンダー
秒殺か〜〜っ!?

ジョ…

なるほど
さすがにオレさまの
パートナーだけの
ことはある

バコラ〜〜〜〜ッ
さあ 早くも
マンモスマン勝利を
確信したかのように
雄叫びを上げる
——っ！

マンモスマン！
ワァァァ
マンモスマン！
マンモスマン！
ピクッ
おぉ
グワッ

ヌワ〜〜〜ッ

ジョワジョワ〜〜〜ッ
サンダーはおまえのビッグタスクスープレックスを受け剣山上に落とされた際…
体のあらゆる箇所が剣山に貫かれても…
脳天と心臓だけはかわそうという咄嗟の判断を働かせたんだ——っ
だから生命に支障なしだ——っ

ワアア〜〜〜ッ
マンモスマンの巨大牙(ビッグタスク)が
サンダーの頭部を
狙ってるよ──っ
……
死ね
──っ!

ああ――っと
サンダー 己の顔面直撃
数ミリのところで
ビッグタスクを掴んだ
――っ

忘れたか〜〜っ
オレのビッグタスクには
枝分かれの機能が
あることを〜〜っ!

ビッグ
タスク――ッ

しかしマンモスマン
掴まれた
ビッグタスクを
途中から
枝分かれさせ

今度は
サンダーの
頭部側面を
狙う――っ!

サンダー
あの技だ――っ!

リオン・クリニエール!

ヌワヌワ〜〜ッ
言われなくても
わかっているさ〜〜っ

あ――っと
サンダーの顔の周りの
鬣が大回転して
マンモスマンの
ブランチタスクを
切断した――っ!

……
サンダーメガトン級のフライングニールキックをマンモスマンの顔面に浴びせる――っ
サンダー剣山(ソード)地獄へ落ちたのがウソのように復活〜〜〜っ再びリングイン〜〜〜ッ!
パゴオ…
ヌオオ〜〜〜ッ

そのまま
マンモスマンの
大腿部めがけ
強烈な
ローキックを
入れる──っ
しかしマンモス
これをカット!
バコラーーッ!
すかさず
ロングフックを
サンダーに見舞う!

ヌガ～～ッ
ヌガーーッ
サンダーも
反撃の
平手打ちーーっ
バゴォ
しかし
マンモスマンも
負けじと
サンダーめがけ
平手打ちを返す
バシ
あーーっと
すごいすごい
マンモスマンと
サンダー…
一歩も引かず
平手打ちの
応酬だーーっ！

ヒャアア

はるか下にある観客席にまでふたりの血飛沫が

おわ～～っ

……

バコォ

ヌワッタ——ッ

オレこそが最凶最悪だという意地の張り合いだ——っ!

サンダー平手打ちをモンゴリアンチョップにスイッチ——ッ

それが見事にマンモスマンの頸動脈をとらえた——っ

バ…バゴォ…

ヨロ…

これは効いた〜〜っ マンモスマン一気に下がる——っ

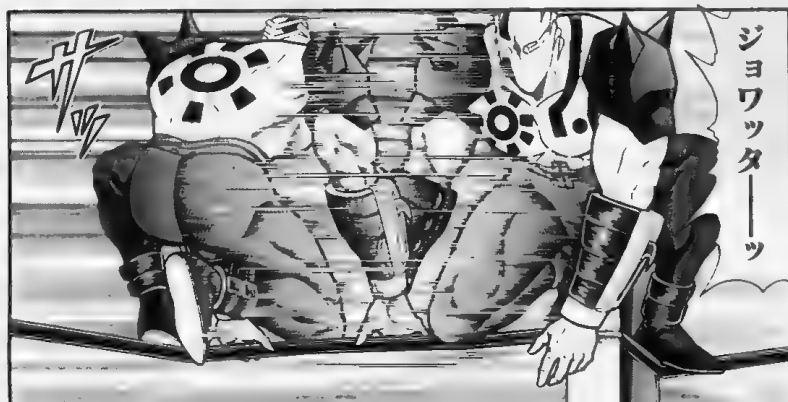
ザッ

いくぜ兄弟!

ジョワ——ッ

ヌグワアアーーッ

あーーっと サンダー
体に剣山板を
つけたまま
マンモスマンめがけ
ボディプレスだーーっ

自らの体を貫く
剣山を利用し
マンモスマンの体を
刺すーーっ

まさに
危険を恐れぬ
捨て身の
ボディプレス
ーーッ！

マンモスマンの体により剣山を食い込ませるため
パートナーのサンダーの背中にヒップアタックを合わせるライトニング!
バゴオ
サンダーの背中の剣山板が粉々に砕けた——っ
ヌワラ〜〜ッ

こ…これは〜〜〜っ
サンダーの体を
貫いていた
剣山が

パ…
パゴッ…

すべて
マンモスマンの体に
移動して
刺さっている――っ

ヒャアア〜〜〜ッ
あんな自分の体に
悪い攻撃見たこと
ないよ――っ

バゴオオ〜〜〜ッ

ズボ

ズボ

ズボ

ズボ

ズボ

グフフフ それでこそ オレの見込んだ男だ

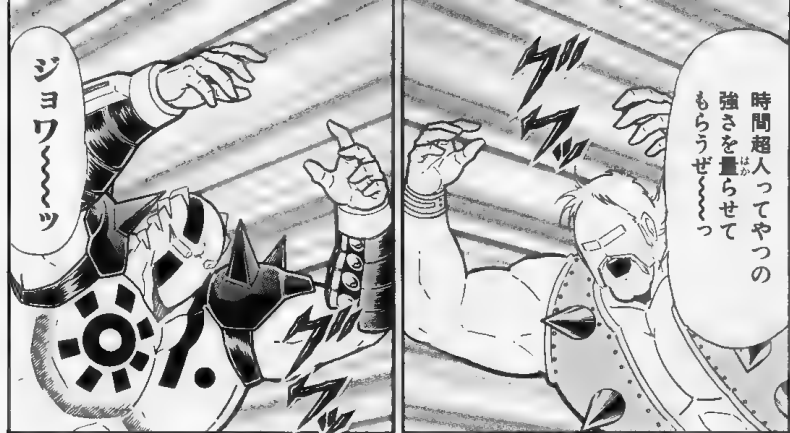
少し休んでいろ
グイ
あーーっと
〝新星・ヘル・イクスパンションズ〟
マンモスマンからチームリーダー
21世紀ネプチューンマンに
スイッチーーッ

パシ
おい兄弟 ここは
オレがいかねば
ならねーだろ!

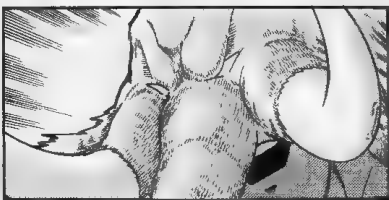
おーーっと
〝世界五大厄〟も
サンダーから

チームリーダー
ライトニングに
スイッチーーッ
リング上
チームリーダー同士の
組み合わせとなったーーっ
ザ
ア

今まで正義・残虐・
悪魔といろいろな属性の
超人と肉体を合わせて
きたが〜〜〜っ

時間超人ってやつの強さを量らせてもらうぜ〜〜っ
ジョワ〜〜〜ッ
あ——っと
ネプチューンマン
これひとつで
あらゆる超人の
能力を推し量る
〝審判のロックアップ〟
だ——っ!

さあ〜〜っ
"新星・ヘル・イクスパンションズ"リーダーのネプチューンマンと
"世界五大厄"リーダーライトニングが

今 リング中央
ガッチリと
ロックアップ——ッ!

第236話 異質なる"悪"!!

"審判のロックアップ"を施せば基本的な超人強度はもちろんのこと 潜在的な強さ メンタル面の強さなど

あらゆる"強さ"の度合いをたちどころに量ることができる

そして 過去 数多の有名超人たちがあのロックアップの審判を受けてきた

勝てると思った相手は必ず潰しにいく…

と…時に"審判のロックアップ"は完璧超人界再興のための

人材発掘の手段ともなる！

ロックアップによって相手の実力を認めると たとえ敵のタッグパートナーであろうと横取りしてしまう 傍若無人さ

そう ウォーズマンのパートナーであったマンモスマンを自軍に引き込んだように

バコ〜〜ッ
バコ〜〜ッ

さ〜〜て 悪行・時間超人という属性の…

その中のライトニングという男の

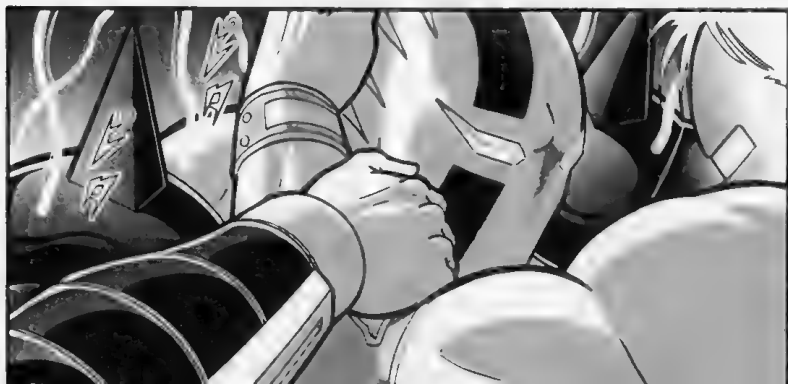
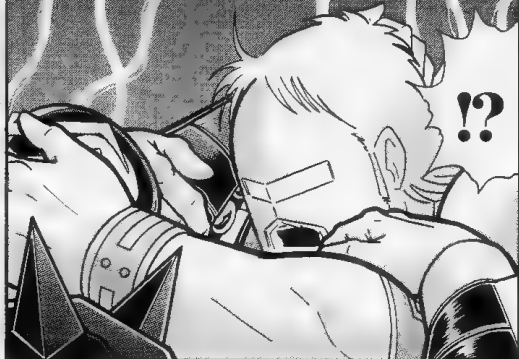
実力はいかなるものか今 量ってやるぜ〜〜っ

ウググググ——ッ なんでぇ〜〜〜っ この組んだ時の感触は〜〜〜っ

そこいらにいる並の超人…

い…いや それ以下の超人のパワーしか持ち合わせていねえじゃねえか〜〜〜っ

バカにするのもいい加減にしろ〜〜〜っ

グイ

あ──っと
ネプチューンマンの
〝審判のロックアップ〟が
ライトニングを格下と
みなしたのか

ネプチューンマン
一気にロックアップに
力を込める───っ!

す…すごい まるで
ライオンがインパラを
組み伏せて

自分の威厳を
示しているようだ
〝おまえはオレより下だ〟と!

なぜだ〜〜っ
なぜ こんな非力な超人が
ブロッケンJr.&ジェロニモの
ザ・テガタナーズを…

そして ロビンマスク&
テリー・ザ・キッドの
ジ・アドレナリンズを
破ることができた〜〜っ

ネプチューンマンのロックアップの力だけで

ライトニングキャンバスに組み伏せられそうだーーっ

ヴググゥ

ジョワジョワ〜〜〜ッ

ヒャアア〜〜〜ッ
これだけ力の差を誇示されているのに
ライトニングのやつよく笑ってられるな〜〜〜っ

お———っと
今にもキャンバスに
完全に組み伏せられる
寸前だった
ライトニングが

逆にネプチューンマン
得意のロックアップで
盛り返してきた———っ

たいていの超人は
大木のようだとか
岩のようだとか

鉄の塊のようだとか
触った感覚で能力が
判断できるのに〜〜〜っ

こやつの体内から
立ち昇ってくる
ヌメヌメとした まるで
とらえどころのない
この感覚は
なんなんだ〜〜〜っ

これではまったく
相手の実力の
審判ができない
〜〜〜っ

ジョワジョワ
おまえたちは
何かといえば
超人強度が
何千万パワーだとか
超人硬度が
いくらだとか
数値を気にするが

オレたちのように
時間を自由自在に
操れる者にとっては
そんなものまったく意味を
なさない——っ！

ネプチューンマンが
ロックアップで相手に
片ヒザをつかされた——っ

か…過去 オレが
対戦してきた
幾多の
超人とは違う…

ジョワ
ジョワ〜〜〜ッ

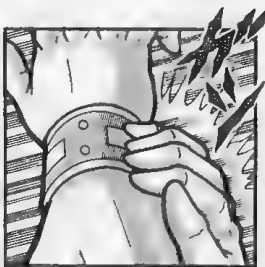
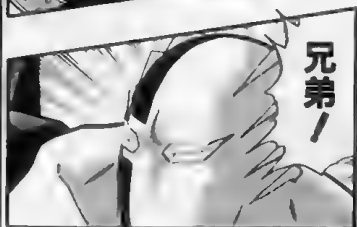
ザッ

オレの方は
おまえの実力が
見えてきたぜ
——っ

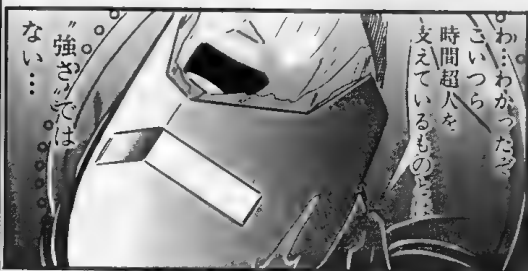
ライトニング
ネプチューンマンの
左腕を取ると
素早くバックにまわり
ハンマーロックにねじる
——っ

こいつだったな〜〜っ
さっきオレに
クォーラルボンバーを
お見舞いしてくれた
左腕は〜〜っ

ヘシ折って
やる〜〜〜っ

そのまま
体を起こし
グアッ
あーーっと
ネプチューンマンの
腕から骨の軋む
音が～～っ
ライトニング
ネプチューンマンの
両腕を完全に
極めて…

腕絡み
スープレックス
だ——っ！
ウ…
ウグ…
サンダー
コーナー最上段より
バック宙返り
ヌワァァ
兄弟！

クォーラルクラッシュ！
グオオ…
ザッ

ジョワジョワ〜〜〜ッ
ヌワヌワ〜〜〜ッ
わ…わかった… こいつら時間超人を支えているものは…
〝強さ〟ではない…
こいつらを支えているのは純然たる〝殺意〟だ!

完璧超人界(パーフェクト)の再興だと?
笑わせるな!
ガガ…
もっともなことをしゃべっているようでその実 おまえは老害を撒き散らしているだけだ!
ライトニングネプチューンマンの左腕を踏みつけツイストする——っ
おめえみてえなオッサンがリーダーになるような超人集団に未来はねえ〜〜〜っ
グアガ…
明るい未来があるのはこの悪行・時間超人だけよ〜〜〜っ

ネプチューンマンの左腕をぶち壊すため
一点集中攻めだ——っ

老兵は消えゆくのみだ

グア…

ライトニング
ネプチューンマンの
左腕に延髄斬りを
放つーーっ!

人生の酸いも甘いも噛み分けた今こそが

ネプチューンマンの全盛よお〜〜〜っ!

ジ…ジジイ…

あ——っとネプチューンマン完全破壊されたと思われていた左腕を自力で上げる——っ!

!?

ジョ…ジョワーーッ

その光が管となってライトニングの体を通過するーーっ

……

マ…マンモスマン！

その光管の元はマンモスマンの牙から出る光ファイバーだーーっ！

バコラァーーッ

マンモスマンの放つ光の管とネプチューンマンの放つ光の管が

今繋がろうとしている——っ!

第237話
光ファイバーパワー VS 加速能力!!
オプティカル
アクセレレイション

あ──っと
マンモスマンと
ネプチューンマンの
放つ
無数の
透明の管が
今まさに
繋がろうと
している───っ!
あれはオプティカル・
ファイバー・
クロスボンバーの
体勢…
透けて───っ
ライトニング───ッ!
ジョワ
ジョワ〜〜〜ッ
な…なんで
動かないんだ
ライトニングは?

あ…あのたくさんの透明の管に体をすり抜けられたが最後…

ありったけのパワーでもがいたとしてもビクともしない…

そう 何か巨大な杭を体のど真ん中に打ち込まれた感じだ…

ぜ…前後から敵が迫ってくるということははっきりと意識しているのにあの管に貫通されると

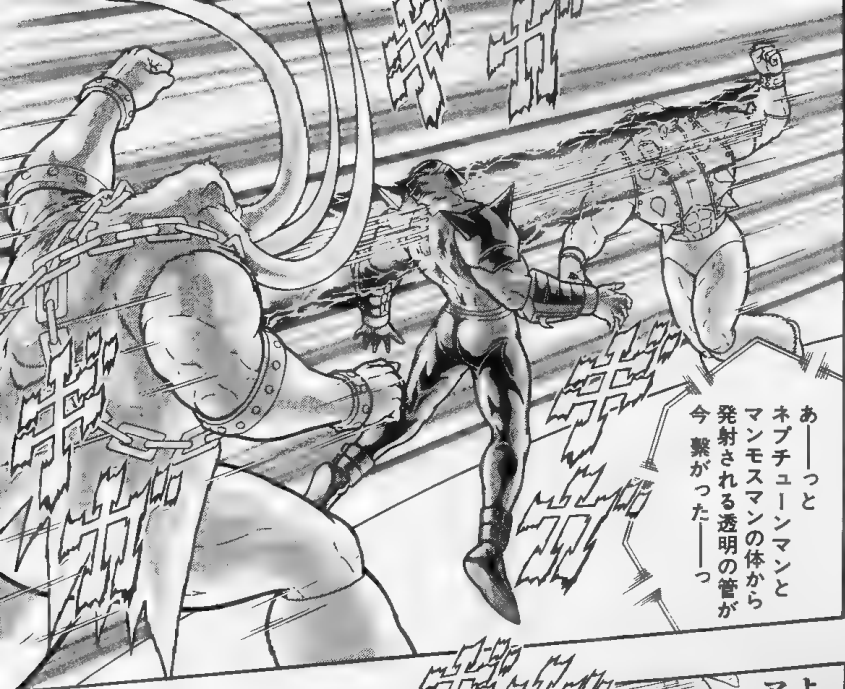
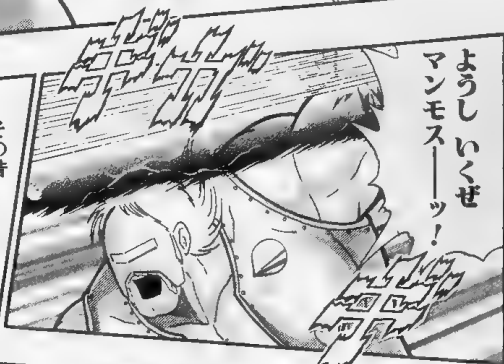
何もできないままただ棒立ちとなり…光の速さで突っ込んでくる

ネプチューンマンとそのパートナー超人の攻撃を受けてしまうことになる

お…おそらくセイウチン以上にフィジカルとパワーのあるマンモスマンが正パートナーとなったことにより
より一層 あの光ファイバーから脱出するのは困難となっているはず…

因果応報だ…

超人の類い稀なるパワーや能力は正義のためにこそ使わねばならないと時間超人の祖先ホーラ・アヴェニールさまは言っていた…
その教えを守らず特殊能力を使って全宇宙支配を企み
同じ種族を虐殺するという暴挙に出たんだ

さんざん悪いことをしてきたやつらが
今 同じ悪いやつらに顔の皮を剝がされようとしている…
これは報いなんだ…
カ…カオス…

あ――っと
ネプチューンマンと
マンモスマンの体から
発射される透明の管が
今 繋がった――っ
ようし いくぜ
マンモスー――ッ!
その昔
ネプチューンマンが
得意としていた
磁力パワーよりも素早い
伝達力と破壊力を持つ
光ファイバー
パワー…
パゴ――ッ
さあ
透明の管の中を
稲妻のように光が
走る――っ!

た…確かに光ファイバーパワーってのは強烈で

あ…数多の実力派超人がこいつの餌食となり散っていったのがよ…よくわかるぜ…

ギギ

グハハハ〜〜ッ
時間超人の顔の皮も

初物でいいコレクションになりそうだ——っ！

ギギギ

くらえ〜〜〜っ
オプティカル・ファイバー！
クロスボンバーーーッ！

あーーっと
覆面狩り（マスクハンター）〝新星（ノヴァ）・ヘル・イクスパンションズ〟
ライトニングの顔の皮を
剝ぎにかかるーーっ！

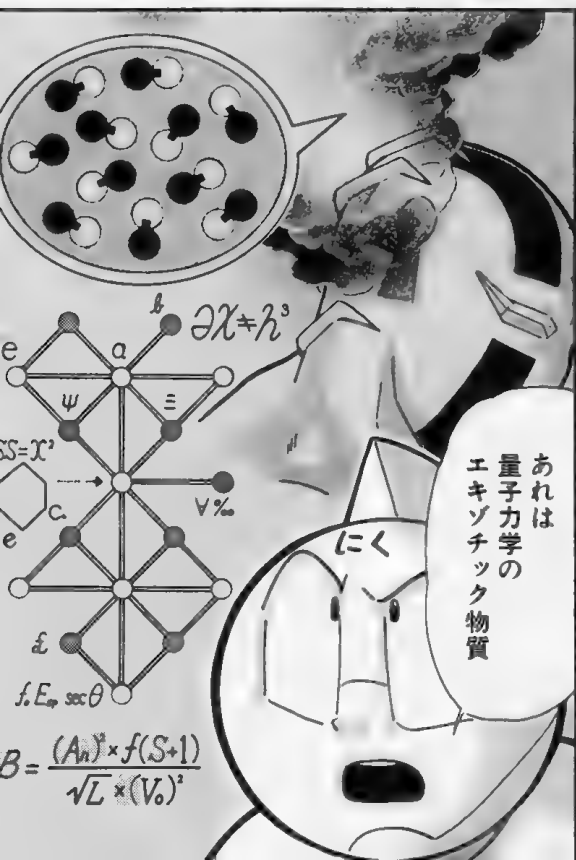
ドアガ
バコーーッ
きまった〜〜〜っ
これで最凶最悪の
称号は
ネプチューンマン&
マンモスマンの
完璧超人コンビの
ものだ──っ!
さ…さすがは
ネプチューンマンの
クロスボンバー

い…いくら憎っくき
悪行・時間超人ども
とはいえ
や…やっぱり
顔の皮を
剝がれるところは
見てられないい〜〜〜っ
ど…同感だ…

い…いいや
万太郎
あれを見ろ…
エ…
エエッ!?

やはり この中継は
未成年者視聴制限あり
R指定にして
よかったです！
モア
モア
これから画面に
映し出されるシーンは
人の顔の皮が
剝がされるという
モア
モア
健全なる少年少女にとっては
あまりにも凄惨でショッキングな
シーンであるからです！

ラ…ライトニングが
いない――っ
ああ

み…見たか
マンモス…

あの野郎
オレたちが
クロスボンバーを
ぶちこむ寸前に
その姿を
消しやがった…

あ…ああ

あれは
量子力学の
エキゾチック物質

にく

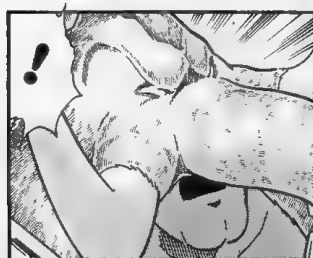
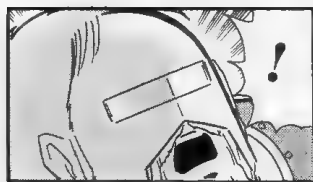
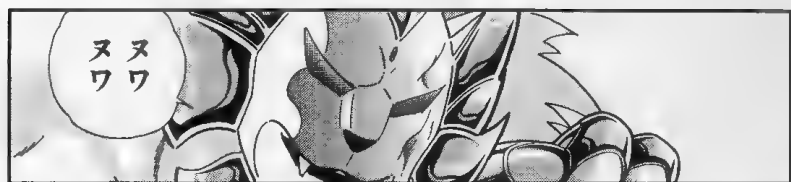
あれはライトニングが
相手の必殺技から
逃れる際に必ず使うもので
肉体の周りの
時間軸をずらし

コンマ1秒ほど加速して
動くことのできる
時間超人だけが持つ
特異な能力…

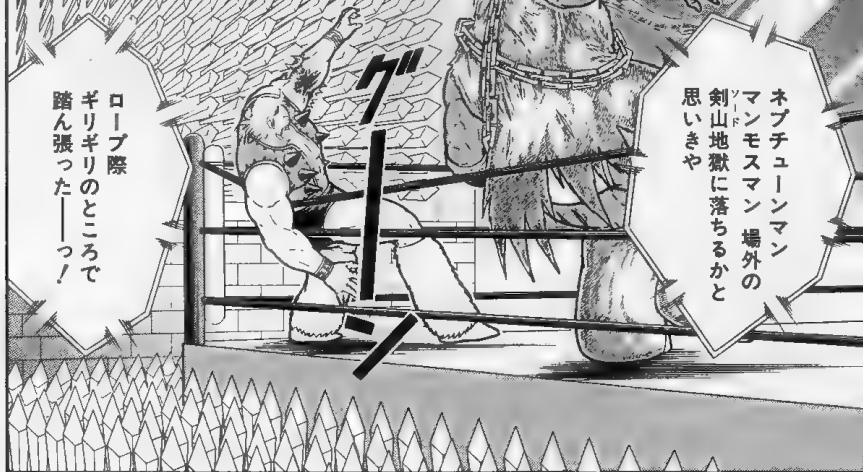
加速能力(アクセレレイション)を使って
い…一体やつは
どこへ移動した!?

ヌワ
ヌワ

ジョワジョワ
何をバカ面(ヅラ)している
こっちだ こっちだ

あ――っと
ライトニング なんと
ウォーキューブの窓に
垂直に立っている
――っ!

超人の世界では
脅威の必殺技と言われる
オプティカル・ファイバー・
クロスボンバーも

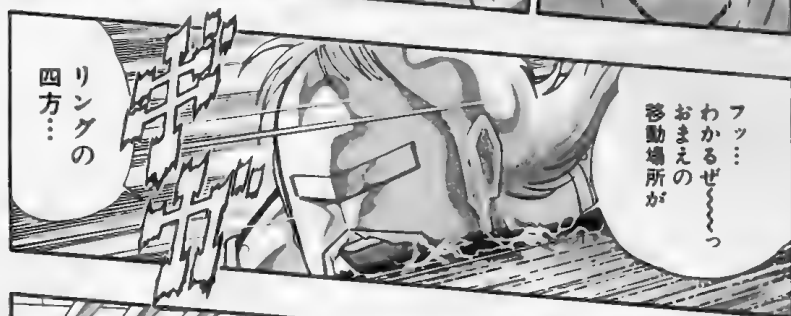
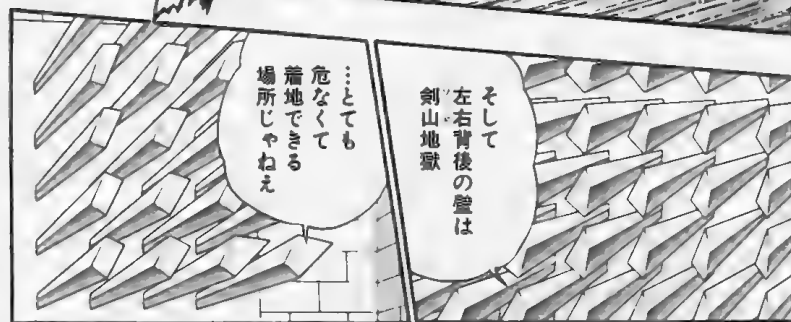
オレたち
悪行・時間超人にとっては

ダブルネックカットーーッ!
あーーっとライトニングラリアットを得意とする
新星・ヘル・イクスパンションズに掟破りの逆ラリアットだーーっ!
グラ
グラ

グワッ

おまえの
加速(アクセレイション)能力の
打倒策が——っ！

おお——っと
今 逃げられたばかりと
いうのに 新星(ノヴァ)・ヘル・
イクスパンションズ

またもオプティカル・ファイバー・クロスボンバーの構えだ——っ!
バゴォ
今度は逃がさねえ——っ!
バゴォ
ネプチューンマン&マンモスマン 再びクロスボンバーの体勢に入った——っ!

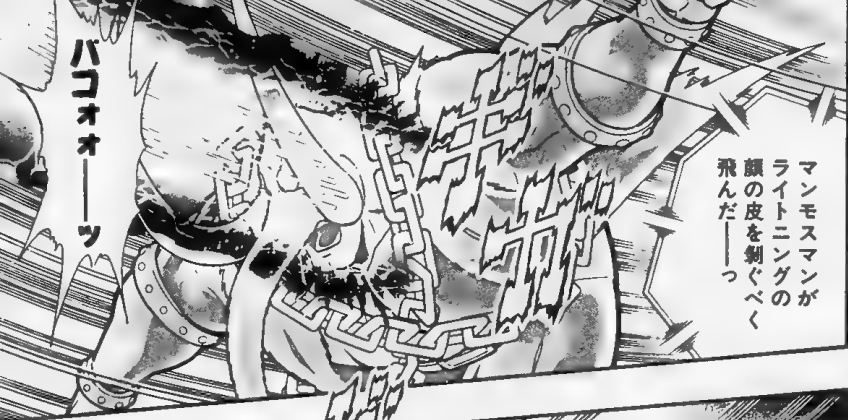
アクセレレイション
カチィ
ライトニング加速能力でまたもその姿を消した――っ！
ブビュ――
フッ…わかるぜ～～っおまえの移動場所が
リングの四方…
そして左右背後の壁は剣山地獄
…とても危なくて着地できる場所じゃねえ

そして天井はオレの〝顔の皮剝ぎ〟コレクションマントが敷きつめられていて
どんな罠が待ち受けてるやもしれんと着地はしねえはず…
さすれば必然的にやつの移動場所はただひとつ
ライトニングはあそこだ――っ！
オプティカル・ファイバー・クロスボンバ――ッ!!
バゴォ

あ――っと
ネプチューンマンと
マンモスマンの出す
オプティカル・ファイバー・パワーの
光の管が…

ウォーキューブの
窓に向かって
発射される
――っ!

ジョワ…

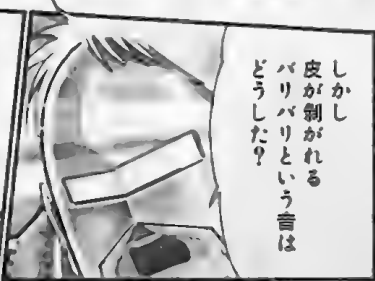
あーっと時間超人得意の加速能力を使いコンマ1秒素早く肉体を移動させたはずのライトニング…
ギギ
ギギ
ギギ
第238話
光ファイバーパワーの弱点!?
しかし〝新星・ヘル・イクスパンションズ〟に位置が見破られていた〜〜〜っ!
ジョワ…
ビンゴーーッ オレの読み通り
ギギ
ライトニングはあそこにいたーーっ

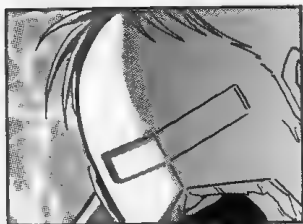
グフフフ… どんなに素早く動こうが隠れようが…
このオレの長年の闘いの経験で研ぎ澄まされた完璧超人の嗅覚ってやつが獲物を絶対に逃がさねえ!
おまえたち悪行・時間超人が最凶 最悪を名乗るのは100年早い…
いや 永久に名乗れやしねぇーんだ!
あーーっと湾曲した光ファイバーの軌道に沿ってネプチューンマンと…

マンモスマンがライトニングの顔の皮を剝ぐべく飛んだ――っ
バコオオーーッ
こ…今度こそ決まる〰〰っ
あ…ああ
ジョグァ
ジョグァァ

なぜだ？
サンダーはなぜライトニングの救出に入らない!?
ジョ…ジョワ
ジョワワ…
ギギギ
ジョワジョワジョワ
ギギギ
おおっと なんだ〜〜っ ライトニング 悶え苦しんでいるのではなく笑っているぞ〜〜っ！
ヌワヌワヌワ〜〜〜ッ
これが笑わずにいられるか〜〜っ
おまえらこそ最凶最悪どころか完璧超人なんて偉そうな肩書を名乗るのはやめろ――っ
何がおかしい〜〜っ
ギギギ

何を下等超人が〜〜っ
磁力パワーに代わる必殺兵器として未来の最新のテクノロジー
光ファイバーを取り入れ21世紀型ネプチューンマンとなったことを自慢してるようだが…
所詮はジジイの哀しさ…
おまえはせっかく自らの体に搭載させた光ファイバーのイロハをまったく知っちゃいねえ…
死ぬ間際の下等超人は口が減らねえもんなんだ——っ
すぐにその顔を狩り獲ってしゃべれなくしてやる——っ!
さあ〜〜っ光の速さの伝達力でネプチューンマンとマンモスライトニングの顔の皮を剝ぎにいく——っ!

すごいスピードだ!
気がつかねえのか〜〜〜っ
い…いや…何か迫力が足りない…
自分たちが逆にオレの撒いた餌に食らいついたということが〜〜〜っ
オプティカル・ファイバー・クロスボンバ──ッ!
ガガガ

あ――っと
これは完全に
ライトニングの体を
捕らえた音だ〜〜〜っ!
生温い…
肉体の感触
ありだぜ…
バコォ〜〜〜ッ

bye-bye(バイバイ)オプティカル・ファイバー・クロスボンバ――ッ!
ググ…
ああ〜〜っ
ライトニングがなんなく左右の足でネプチューンマンとマンモスマンのクロスボンバーを阻止している――っ
ウググ〜〜ッ
こ…これは〜〜っ!?
バコオオ〜〜ッ

なんと〜〜っ ネプチューンマンの左腕と マンモスマンの左牙が
光の速さで 伝達し合い 相手の顔面の皮や 覆面を狩り獲る 脱出不可能の
オプティカル・ファイバー・クロスボンバーが 破られた——っ!

まだ わからんのか〜〜っ
21世紀においては エネルギー伝達の 革命と呼ばれている 光ファイバーだが…
実は唯一 弱点があった!
海底を走る ファイバーケーブルは ほぼ真っ直ぐに 敷設されている
なぜだか 知っているか?

あ…ああーーっ

ようやくわかったようだな

おまえたちの必殺連係技オプティカル・ファイバー・クロスボンバーは

正面に立つ相手に対しては光の伝達も真っ直ぐだから

完璧なる光ファイバーパワーを発揮できる

しかし
相手が正面でなく
ロープの最上段や
壁に立つなど
正対していない場合…

光ファイバーパワーは
真っ直ぐ撃てなくなり
曲線となる

そうなると格段に
伝達速度が落ちて
しまうってワケよ

オ…オレが
苦労の末に
ようやく
手に入れた
21世紀の最新
テクノロジーがぁ
〜〜〜っ
ウググ
あ――っと
ネプチューンマンの
左腕の傷が広がり
ネ…
ネプチューンマン！
流血が
ひどくなる
――っ

サンダーーーッ！
ヌワ
ライトニングのかけ声に
呼応するように
サンダー
トップロープより
宙に舞うーーっ！
ネプチューンマン
おまえは欲を
とりすぎたんだよ…
グウ
あーーっと
ライトニングは
ネプチューンマンの
パゴォ
サンダーは
マンモスマンの
それぞれ左腕を
捕らえたーーっ

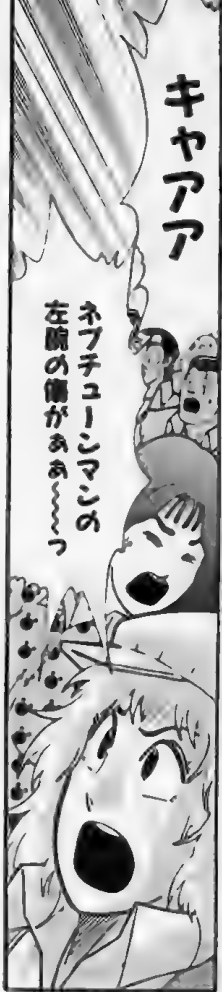
そのまま
ネプチューンマンと
マンモスマンの左腕を
ねじり上げながら
自分たちの体を
回転させる――っ
そして
腕固めの
体勢に
入り…
グオ

そのまま
リング上へ
落下──っ!
ヒエ

グ…グウウ

パゴォ…

キャアア

ネプチューンマンの左腕の傷がぁぁ〜〜っ

グウウ…
ネプチューンマンと
マンモスマン
深手を負いながらも
すぐに
立ち上がってくる
〜〜っ！
ジョワジョワ
わからねえのか
ジジイ
な…何を
ぬかすか〜〜〜っ
おまえはもはや
オレたちのような
若く体力もあり瞬時の判断力に
優れた超人とは五分に
渡り合えないいんだよ
アクセレレイション！

そして一瞬で
世界五大厄
ネプチューンマンと
マンモスマンの首に
両足をひっかけた
――っ!
パゴォ
グウウ

ソードデスマッチは
ネプチューンマン
おまえの最も得意とする
試合方法…

ならば味わわせてやろう
その地獄を自ら食らう
屈辱を――っ！

お――っと
フランケンシュタイナーで

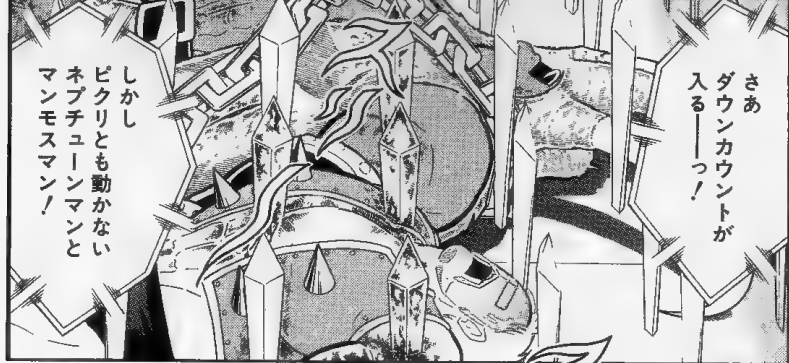
ネプチューンマン
マンモスマンを場外へ
放った――っ！

あ——っと
ジ・アンドレナリンズに続き
おそらく20世紀21世紀に
名が残るであろう
実力派超人

ネプチューンマンを
リーダーとする
新星(ノヴァ)・ヘル・イクスパンションズをも
秒殺か——っ!

あーーっと
ネプチューンマンとマンモスマン
"世界五大厄"のダブルの
フランケンシュタイナーで
リング下に叩き落とされ

場外に敷きつめられた
剣山地獄に全身を
貫かれピクリとも
動かない〜〜〜っ!

第239話 覚醒!"眠れる暴獣"マンモスマン!!

さあ
ダウンカウントが
入るーーっ！

しかし
ピクリとも動かない
ネプチューンマンと
マンモスマン！

ネプチューン
マン！

キン肉マン！

あの剣山の
刺さる位置から
判断して

おそらくマンモスマンは
場外転落時に咄嗟に
心臓や動脈などの
急所に刺さるのは
回避していますが…

ネプチューンマンに関しては
動脈は無事にせよ
あの位置からすると
僅かだが剣山が
心臓をかすっているかも

おーっと
若いマンモスマン
強引に体に
突き刺さる

パゴオオ

剣山板(ソードばん)を
ひき剣がして
起き上がってきた
——っ

か…勝手に年寄り扱いしおって〜〜っ

ググ…

おーーっと復活を絶望視されていたネプチューンマンが息を吹き返したーーっ

ネプチューンマン

ま…まさか剣山(ソード)が心臓をかすめたというのに

ジョ…ジョワ〜〜ッ

あのオッサン不死身か？

さ…さっきも言ったが
オレたち新星・ヘル・イクスパンションズは

助け 支え合い
連係によって
1+1=10になる
関係ではない!

個々の力が優れて
スタンドプレーでのみ
結果が出る

100+100=
200の関係だ!

だから…
この手は
どけろ!

オレはおまえらに
体力も 瞬時の

判断力も
ま…負けちゃいねえ

血まみれの完璧超人
ベテランの意地を懸けて
〝世界五大厄〟めがけ
両腕の

クォーラルボンバーで
襲いかかる——っ!

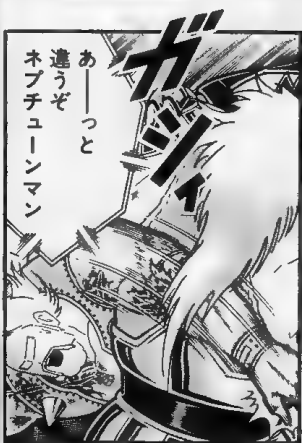
クォーラルボンバーに見せかけてその左右の腕をライトニングとサンダーの腰に巻き

ヌワ

ジョワ

そのままふたりの巨体をたったひとりで抱え上げる——っ!

投げたーーっ!

イクニッション・クラッシュ!

ネプチューンマン!

立場をわきまえろ
キン肉マン!

エッ!?

しかしやはり性根は腐ったワルのまま…21世紀で生きていたネプチューンマンは再び完璧超人界の再興を目指し自らの悪行パワーにますます磨きをかけて

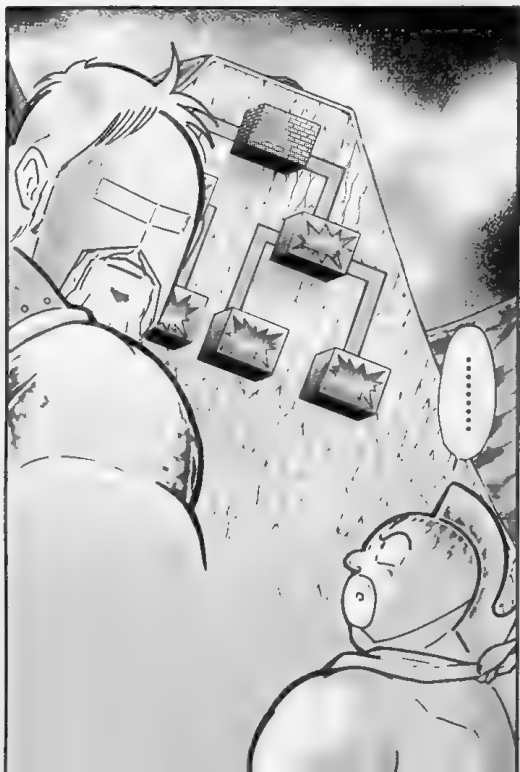
この20世紀に舞い戻り相変わらず残虐ファイトの限りを尽くしている

オレたちの仲間もやられたんだぞ

わかっておるわい

そうだともあいつは二度も悪行の道に戻った…

絶対に許されないド悪党なんだ!

………

ネプチューンマン意地の投げで今度は〝世界五大厄〟がダウーン！

グ…グフフフ
ど…どうでぇ
若僧〜〜〜っ

長年の超人レスラー生活で培われた経験と洞察力は伊達じゃねえってことよ

ジョワ…

ウ…ッ

グラッ

ジジィ〜〜〜ッ
そこまでだ！

今度の瞬時の
判断力はこのオレの方が
上だったようだ〜〜っ

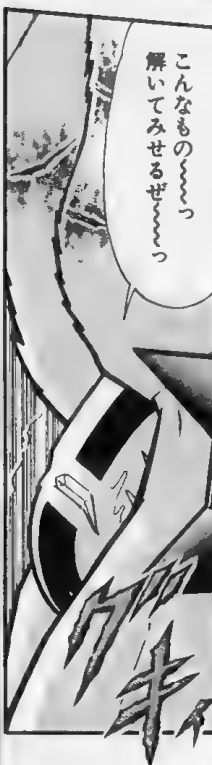
お――っと
ライトニング 背中に
ネプチューンマンを乗せて
ショルダースルーで背後に
投げる――っ

心配にはおよばねえぜマンモス〜〜〜ッ

ガキ

!?

あーーっとネプチューンマン場外転落寸前に両脚をライトニングの首にかけ それを阻止〜〜〜っ!

ジョワ……
超人絞殺刑だ〜〜〜〜つ！
ネプチューンマン

わ…若い頃は他人の技など絶対につ…使ってたまるかという変なこだわりがあったが…

…この年齢になると誰の技だろうが勝つための手段とあらば使う

そんなズル賢さも身についてな

あ——っと
ライトニング

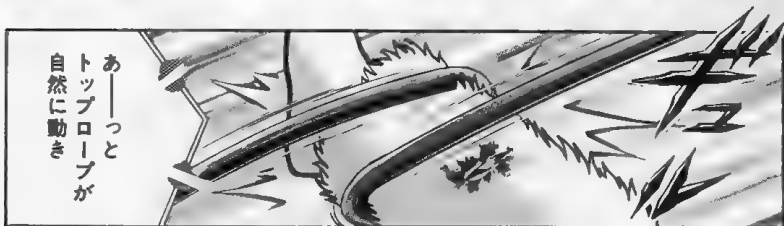
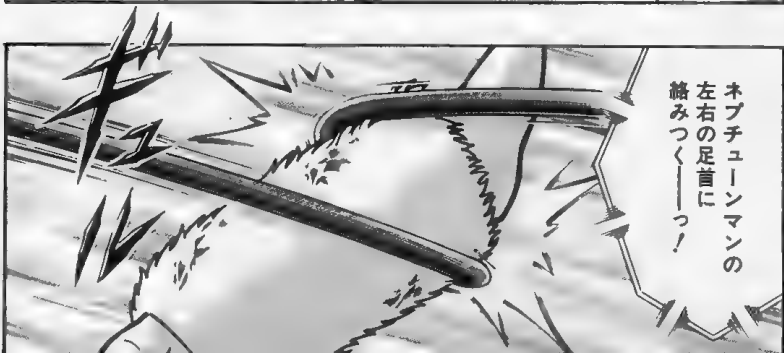
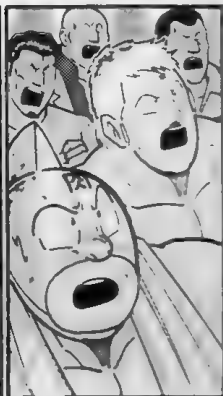
完全に技が
決まる前に
加速能力(アクセレーション)を使って

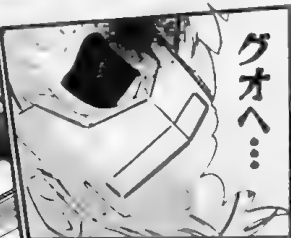
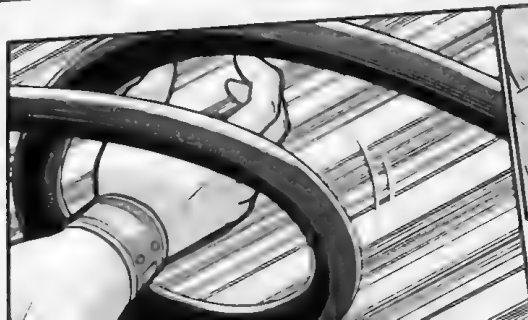
ネプチューンマンの
超人絞殺刑から
逃れる——!!

グオオオ…

こ…これはどうなってんだ!?

加速能力(アクセレレイション)で技から逃れながらライトニングは同時に凄まじい速さで動いて

ロープを操っているんですよ!

右腕もロープに絡まれ
グラッ
ネプチューンマン完全に身動きがとれなくなった——っ
ライトニング姿を現した——っ
ジジィ〜〜〜ッ
おまえに剣山地獄へ堕ちてもらう前に
少しいたぶっておかねえと気がすまねえ！
！
逆さの状態でロープに吊るされているネプチューンマンに向かってライトニング蹴りを放つ——っ！

ダァ
ヌワァーーッ
ドガガ
ドガ
ズガガッ
グオ…
グオへ…

パ
あ——っと今
〝新星・ヘル・
イクスパンションズ〟
〝眠れる暴獣〟
マンモスマンに
スイッチした——っ
これは救出じゃねえ
我が〝新星・ヘル・
イクスパンションズ〟を
守るためだ——っ

〝眠れる暴獣〟ではない
知性（タクティクス）の部分も
覚醒したことを
見せてやる――っ

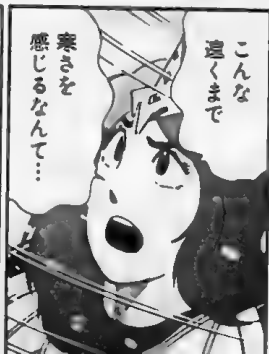
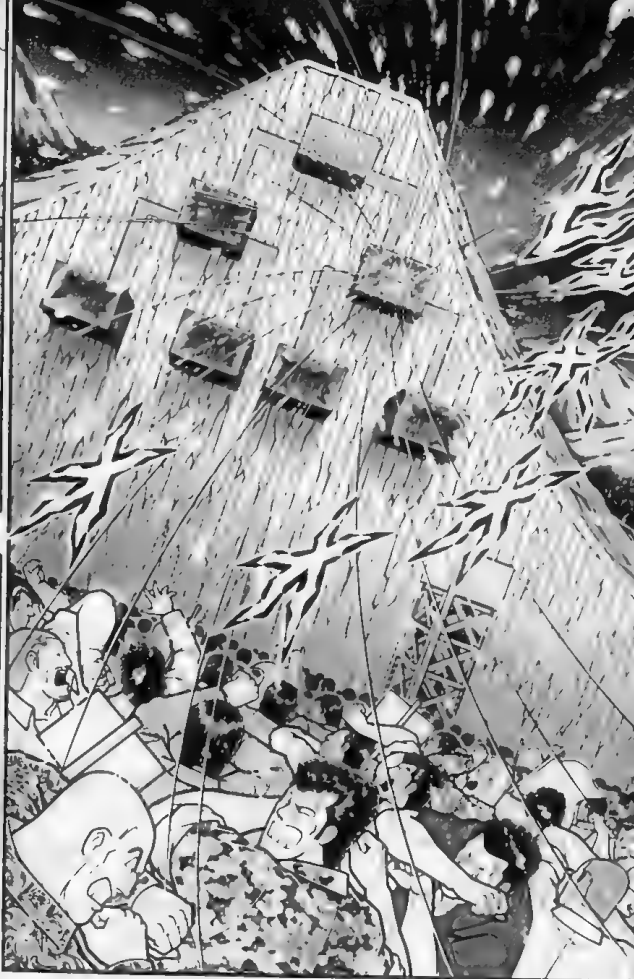
ビッグタスク――ッ！

見切ったぜ
アクセレレイション！

なんと〜〜っ
マンモスマン
突然 立ち止まった
――っ！

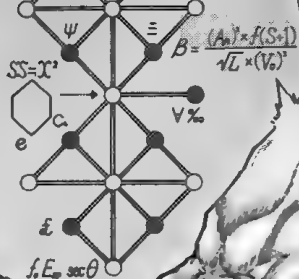
ノース・
フリージング
――ッ！
おーーっと
マンモスマンが
ビッグノーズを
振り回すと
辺りに凄まじい
ブリザードが
起こる――っ！

第240話
加速能力(アクセレレイション)を打ち破れ!!
ノーズフリージング――ッ!!
マンモスマンが巨大鼻をもげんばかりに振り回すと
リング一面に凄まじいブリザードが起こる――っ
ジョワ…こんなところで吹雪(ブリザード)なんて起こして
どうしようってんだ
てめえはあと少しでやられるってのに…

さ…
寒い…
リ…リングの上だけの吹雪なのに…
こんな遠くまで寒さを感じるなんて…
ここでこんなだとリング上は冷凍庫状態でしょうね
へ～～ックション
サブ～～ッ

な…なぜだ?
飛行・時間超人のライトニングとサンダーが加速能力を使っているのに
一向にコンマ1秒の未来に移動しないじゃないか!

あ…ああそういえば〜〜っ

おい サンダーおまえ 体勢が元のままではないか
早くアクセレレイションでコンマ一秒の未来へ飛べ
き…兄弟お前の体もまったく加速していないし…
ワープできてないぜ!

なにィ〜〜ッ
それは肉体の周りの時間軸がズレてないということ!
か…体がそのまま…
ああ〜〜っ肉体を加速させるのに
必要なエキゾチック物質がぁ〜〜っ
凍りついている〜〜っ

しかし それを
凍らせてしまえば
おまえたちの加速能力は
意味をなさねえ!

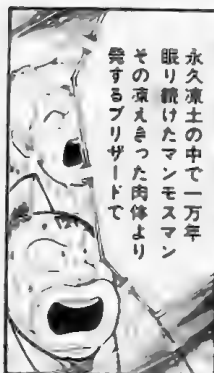
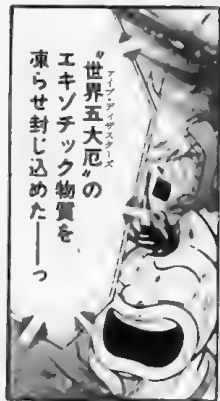
……

……

あ——っと
ライトニング&サンダーの
頭部の鍵穴から噴出する
大量のエキゾチック物質が
マンモスマンの放つ
ブリザードによって
凍結する——っ

バ…バカな
オレたちの
加速能力(アクセレレイション)は
完璧な能力だ
──っ

加速能力(アクセレレイション)を失った
悪行・時間超人など
そこいらにいる
ひと山いくらのヘボ超人
と変わらねえ〜〜〜っ

シャキ

ゆっくり料理
させてもらうぜ
〜〜っ！

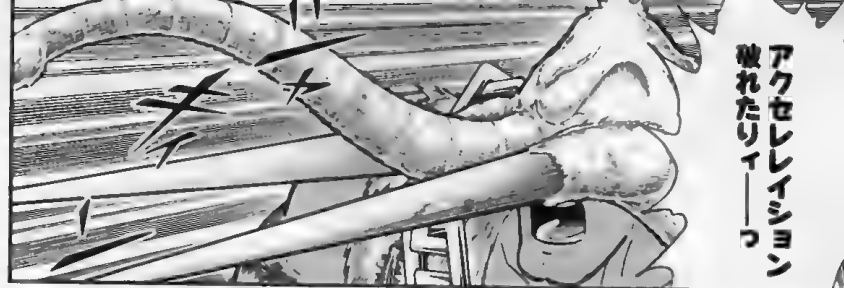
マンモスマン
加速できない
ライトニングと
サンダーに照準を
合わせ

ズズン

ズン

ズン

巨大牙(ビッグタスク)を伸ばして
リングを軋ませ
突っ込んでいく
——っ

アクセレレイション
破れたりィ——っ

ビッグタスク——ッ!
ジョワ…
ヌグワ…

そのまま
空中高く
放った——っ

でかしたぞ
マンモスマン

そして
落下してくる
ライトニング
サンダーを…

折り重なるように
キャッチ――ッ
バコーッ!
なんと〜〜っ
マンモスマン ふたりを一気に
アルゼンチンバックブリーカーに
極めたまま横転していく
――っ!
おお

マッキンリー──
雪崩落とし──っ!!

ズン
ジョワーーッ
ズン
ヌワアーーッ
ライトニング&サンダーダウーーン

しかし 新たな師 ネプチューンマンは
完璧超人界の 崇高なる理念を 教えてくれた!

そして あらゆる 超人界の歴史が 網羅された
超人大全の知識を 手に入れることが できたのだ~~っ!
あ…ああ~~っ

もはやオレは〝眠れる暴獣〟ではない

マンモス

獣性に加えて知性も覚醒！完璧なる〝超人破壊者(デストロイヤー)〟となったのだ――っ！

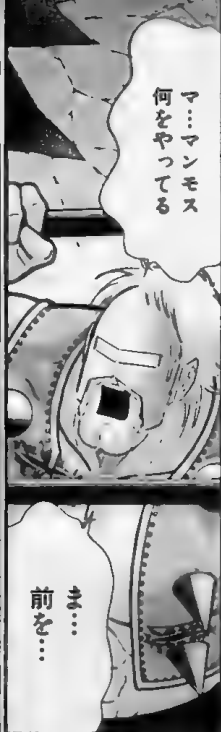
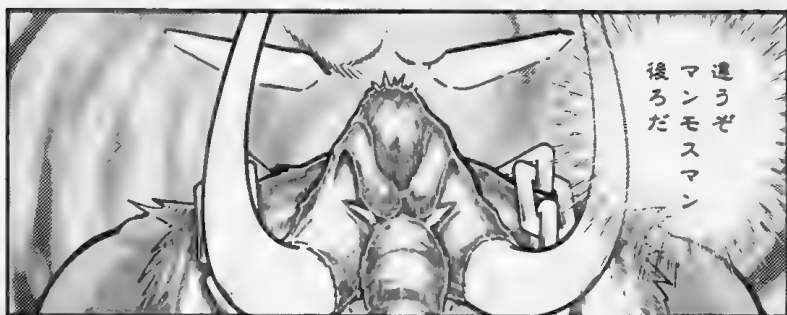
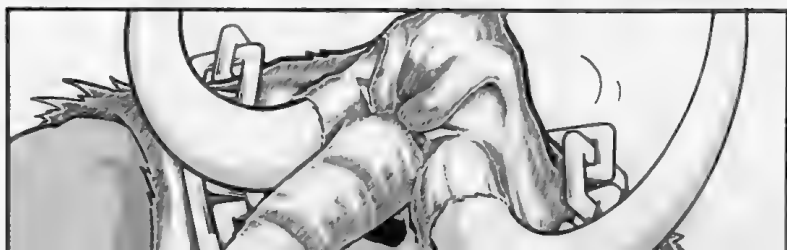
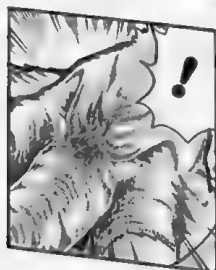
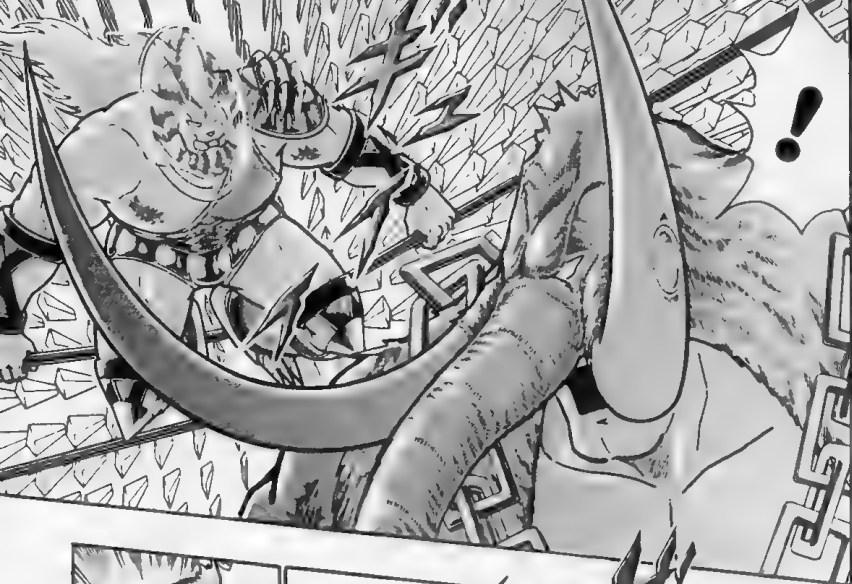
マンモスマン
た…
確かに強い…

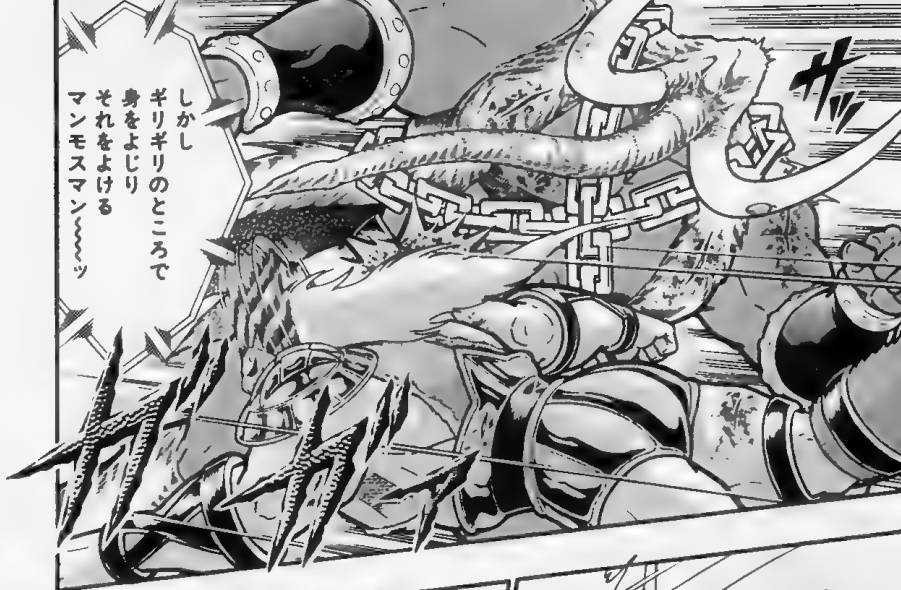
こ…この時代のやつらは
ただのマンモスの皮を
かぶった超人としか認識して
ねえかもしれねえが…
オ…オレたち未来から
やってきた時間超人には
十分にわかる！

？

この先 おまえが
超人歴史の
キーパーソンと
なることを…

キ…
キーパーソン…

マ…マンモス 何をやってる
ま…前を…
ま…前を気にせんか——っ!
バコッ!

!
あ――っと サンダー
顔の鬣を大回転させ
ロープの反動を利用して
無防備なマンモスマン
めがけ飛び出す
――っ！
覚醒したてで
悪いが おまえには
眠ってもらうぜ
――っ！
!
リオン・クリニエール！

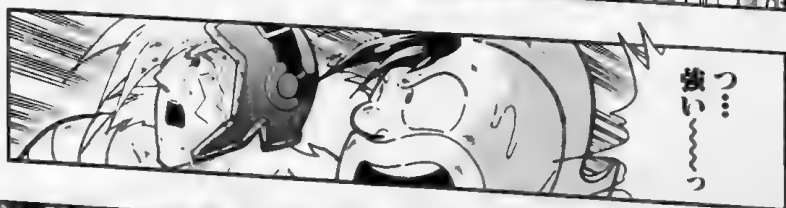
サッ
しかし
ギリギリのところで
身をよじり
それをよける
マンモスマン～～～ッ
バゴオラ～～～ッ!
マンモスマン
サンダーの体に
長い鼻を
巻きつけた――っ
ガシ
そして そのまま
宙高く放り投げる
――っ!

アイス・ロック・ジャイロ――ッ!

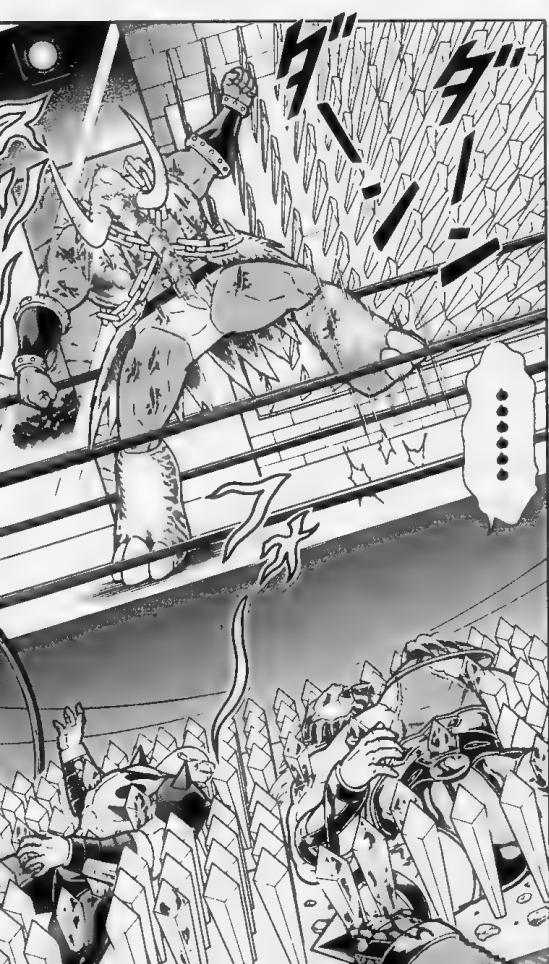
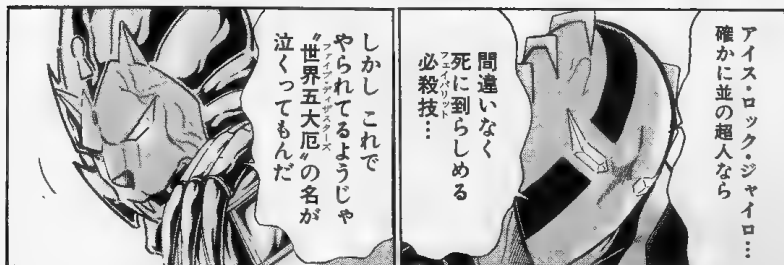
あ――っと
宙に浮いたサンダー
まるで無重力の中に
放り出されたかのように
不規則な動きで
舞い続ける――っ

サンダーの体が凍りついていく——っ！
マンモスマンの起こす吹雪で冷却された空気の中を
高速で舞うために体が凍っていくんです——っ！
砕けろ——っ〝凍った獅子〟よ——っ！
最凶最悪超人の称号の夢と共に——っ！

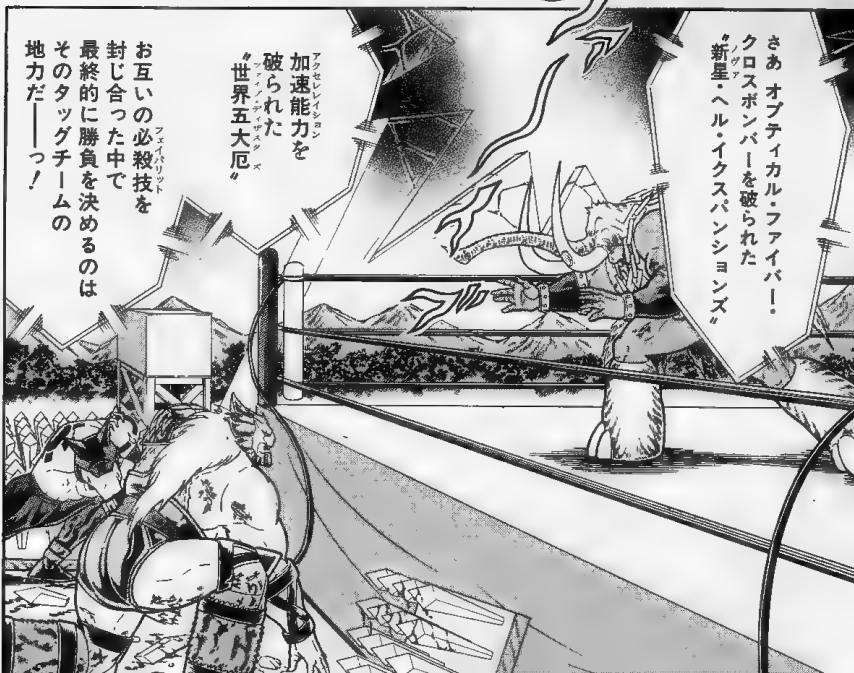
あーーっと
マンモスマンの
アイス・ロック・
ジャイロにより
行けーーっ!
氷詰め(フリージング)にされた
サンダーが
チームリーダー
ライトニングめがけて
飛ばされるーーっ!
第241話
壮絶!
血みどろの剣山殺法
ジョワァ〜〜ッ
ライトニング
なんとかそれを
止めようと
両手を前に出す
ーーっ!

ジョワッ
ジョワア〜〜ッ
ガガガ
……
氷詰めのサンダーそしてライトニングが
ガゴ
トップロープを越えてリング下へと落ちていく——っ

グワッ
ザク
ああーーっと
先ほどの〝新星・ヘル・イクスパンションズ〟に続いて
今度は〝世界五大厄〟が剣山地獄に落ちたーーっ
ゴワァ
ヌグワア
つ…強い〜〜〜っ
1500人の超人の村をわずか3時間 たったふたりで壊滅させた〝世界五大厄〟を
こ…このマンモスマンはたったたひとりで！

蹴散らしやがった――っ！
バコォバコォ――ッ
ズバァン
マンモス！マンモス！
あ――っとマンモスマン"眠れる暴獣"から"超人破壊者"へと覚醒して大暴れ――っ
21世紀でその名は轟いていたが実際に見るマンモスマンは噂以上だ！

ゴホッ
ゴホッ
ダーーン
ダーーン
……
!

アイス・ロック・ジャイロ…
確かに並の超人なら

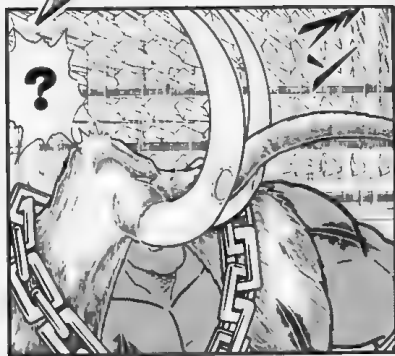
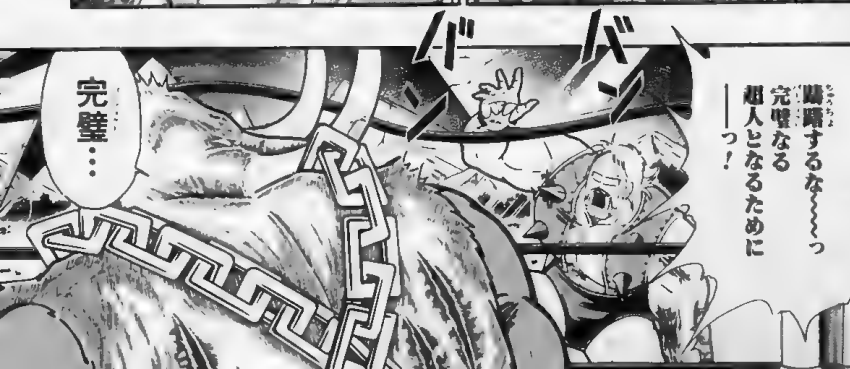
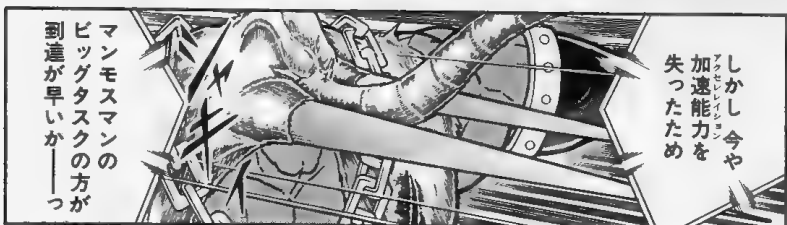
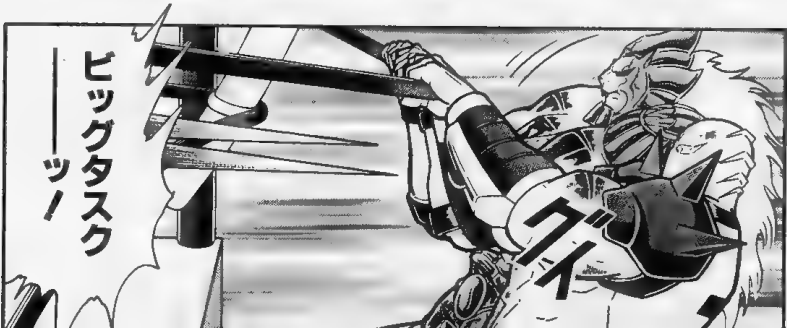
間違いなく
死に到らしめる
必殺技…

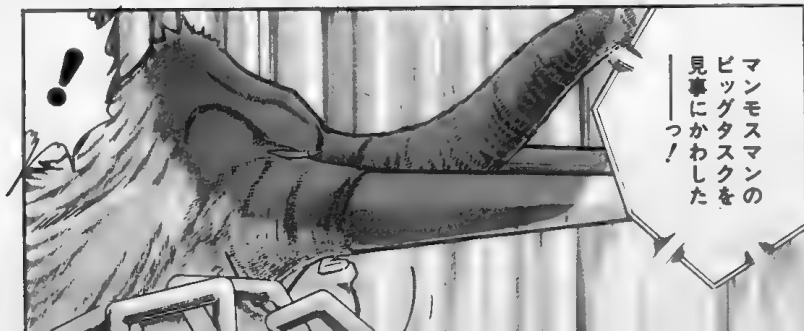
しかし これで
やられてるようじゃ
〝世界五大厄〟の名が
泣くってもんだ

さあ オプティカル・ファイバー・
クロスボンバーを破られた
〝新星・ヘル・イクスパンションズ〟

加速能力を
破られた
〝世界五大厄〟

お互いの必殺技を
封じ合った中で
最終的に勝負を決めるのは
そのタッグチームの
地力だーーっ！

興奮しているかと思えば
すぐに冷静となり臨戦体勢に入れる
何を相手の出方をうかがっている──っ
バシーバシ
チャンスじゃないかマンモス〜〜ッ一気呵成に攻めんか──っ
まさにマンモスマンは獣性と知性二律背反する
性質を併せ持った〝超人破壊者〟
ジョ…ジョワ〜〜ッ
クッ
ヌグワ〜〜〜ッ
……
見よ〜〜っ相手は完全に手負いだ〜〜っ！
行かんか〜〜っ！

サンダー
おまえ
その血…
き…兄弟
おまえだって…
このおびただしい血…
この剣山板(ソードばん)…
サンダーよ
この血 使える
かもな
バゴォーーッ
さあ～～っ
二度とリングへ
入ってこられ
ないよう
そうか～～っ
わかったぜ～～っ
“世界五大厄(ファイブ・ディザスターズ)”の
息の根を止めるつもりだ
マンモスマン!

バゴォ
出るな
マンモスマン
やつらは何か
策があるようだ
少し待て〜〜っ
?
何をやっとるかぁ——っ
マンモス!
躊躇するな〜〜っ
完璧なる
超人となるために
——っ!
完璧…

バコォオーーッ
さあ〜〜〜っ マンモスマン 再び タスクを突き出し 走り始めた——っ!

ああっ
ライトニングと
サンダーが逃げた！
いや まだ
ビッグタスクの
射程内だ！

ようし
今だ
兄弟！
あ——っと
セカンドロープの反動で
ライトニングとサンダー
真上にジャンプ——ッ！

マンモスマンの
ビッグタスクを
見事にかわした
——っ！
！

ゲゲ〜〜ッ
ライトニングとサンダーの足に剣山板が張りついている——っ
ああ…
おまえらひとりひとりの力は2800万パワーと7800万パワーで強大かもしれない！
しかし 連係においては即席チーム
長年 チームを組んでいるオレたちには敵わない——っ
"世界五大厄"マンモスマンの巨大な胸板に足をかけ垂直に駆け上がっていく——っ！

顔裂サマーソルト——ッ!
剣山板の張りつく足でマンモスマンの顔面にサマーソルトキック——ッ!
パゴオ〜〜〜ッ

剣山の傷により顔面が裂けそこから大流血するマンモスマン!

ネプチューンマンの
剣山殺法は磁力パワーという
絶対のパワーがあってこそ

あの剣山板を左腕に
ピッタリと吸いつけることが
できたんだ

し…しかし
磁力パワーを持たない
〝世界五大厄〟がなぜ

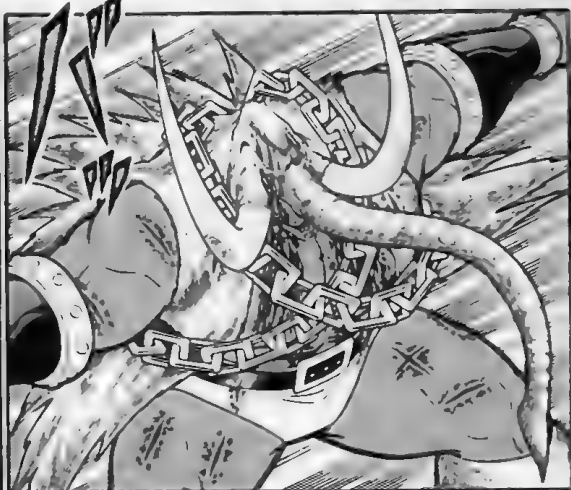
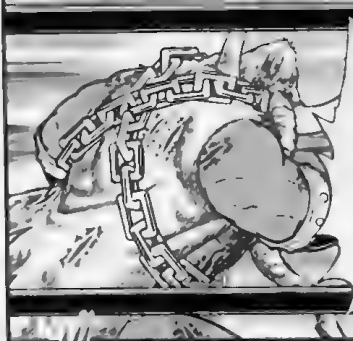
剣山板を足に
張りつけることが
できる〜〜〜っ!?

そうか〜〜っ ライトニングとサンダーは 自分の血で足と剣山板の間に 真空状態を作り上げ

その作用でまるで 磁力パワーのように ピッタリと張りつかせて いるのか——っ!

ひるむ マンモスマンに 次の攻撃を 加えようと

虎視眈眈と宙で見守る ライトニングとサンダー

マンモスマンよ〜〜っ
おまえの
ビッグタスクと並ぶ
もうひとつの武器
ノーズフェンシングを
使え——っ！
ババ
ババ
おまえの
巨木の如き
強靭な足で
ライトニングと
サンダーに蹴りを
見舞ってやれ〃

さすれば…
ふたりとの距離も
とれる…
そして逆襲に
転じやすい!
バコ
ザッ

何をしている
ノーズ
フェンシングだぁ
──っ

ノーズ
フェンシング
──ッ!

おーっと
マンモスマンの
鼻が伸びたぞ
──っ!

鼻裂
レッグラリアート！

パゴ

あ――っと
ライトニング＆サンダー
マンモスマンの生命とも
言えるジャンボ・ノーズを
剣山板の張りつく
お互いの足で
挟み打ちに
蹴った～～っ！
第242話 潰されたジャンボ・ノーズ!!
パゴオーーッ
マンモスマンの
ジャンボ・ノーズ
完全に
潰された――っ
マ…
マンモス…

ヒャアアーーッ
マンモスマンの潰れた
ジャンボ・ノーズから噴き出す
大量の血がこの観客席まで
降り注いでくる――っ!
キャアア
マ…
マンモスマン
この
ジャンボ・ノーズが
おまえの最大の
武器であり
最大の
弱点でも
あることは
先刻
ご承知よ〜〜〜っ
もっとだ〜〜〜っ
もっと苦しめ〜〜〜っ
マンモスマン〜〜〜ッ

バコオラ〜〜〜ッ
あ――っと
マンモスマン
ジャンボ・ノーズに
蹴りを喰いこませた
〝世界五大厄〟の
ふたりを逆に
ふっ飛ばす――っ
ジョワ
〜〜ッ
ズ
どこまでも
無尽蔵パワーの
マンモスマン！
ヌワ〜〜ッ
バコォオ
〜〜〜ッ

な…何が無尽蔵のパワーなもんか〜〜っ

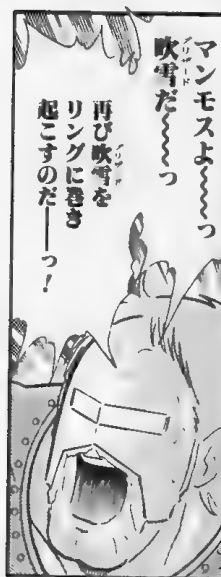
底が見えてきたぜ〜〜っ

ああ〜〜っ

しかし"世界五大厄"一瞬で立ち上がると同時に

早くも臨戦態勢マンモスマンに休む暇を与えない——っ!

バゴォ

マンモース後ろだ——っ!

マンモスよ〜〜っ吹雪だ〜〜っ

再び吹雪をリングに巻き起こすのだ——っ!

バコォ

違うマンモス!
!

ジャンボ・ノーズは傷つきすぎた
ここはおまえから出ず逆に"世界五大厄"に攻めさせ

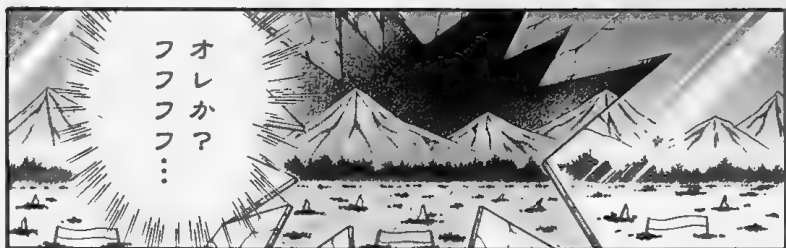
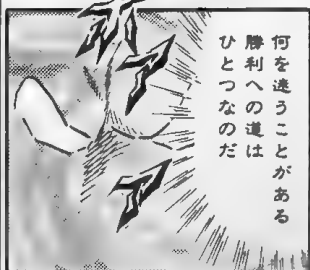
カウンターで一気に叩け!

パゴォ〜〜〜ッ

何を迷うことがある
勝利への道は
ひとつなのだ

だ…
誰なんだ…

何も考えるな 今は戦いに 集中しろ!

ね…ねえ あいつ なんで さっきから ブツブツ言ってるの?

マンモスマン!
吹雪だ〜〜っ
バゴオ〜〜〜ッ
お——っと
マンモスマン
ジャンボ・ノーズを
振り回し始めた——っ!

ノーズ・フリージング──ッ!
ジャンボ・ノーズの大回転がリング上に再び吹雪を起こす──っ!
マンモスマンの体をキャッチする寸前までいっていたライトニング&サンダー
そうだどんどんぶん回せ〜〜〜っ!
その勢いで吹き飛ばされる──っ!
再び剣山地獄へ墜落か──っ!

出た——っ
アラスカの永久凍土の中で
一万年眠っていた
凍える肉体を持つ
マンモスマンだからこそ
出せるオリジナル技！
しかし〜〜っ
ライトニング
トップロープを掴んで
場外転落を防いだ
〜〜っ
ヌワ〜〜〜ッ
ようし
もっとだ〜〜っ
もっとパワーを
上げろ——っ
マンモス〜〜ッ
グボッ

バゴッ…
ガクッ
あ…あれだけ
ジャンボ・ノーズが
ズタズタに潰されて
しまっているというのに
マンモスマンの
気迫は一向に
衰えない!
技の威力には
影響ありだ
〰〰っ!
あ──っと
サンダー&ライトニング
マンモスマンのノーズ・
フリージングにより
作り出される
猛吹雪になんとか
踏みとどまった
──っ!
ヌグクァ〰〰ッ
いくら気迫は
衰えなくても…

ヌワ〜〜〜ッ
!
サンダー猛吹雪(ブリザード)に逆らうかのようにマンモスマンに対してエルボーバットを狙う——っ!
マンモスマン吹雪で吹っ飛ばすのは無理とジャンボ・ノーズを振り回すのをやめた——っ
あ——っとマンモスマン巨体を宙に浮かせサンダーのエルボーバットをかわした——っ!

ジャンボ・ノーズキャッチャーーーッ！
!
マンモスマンジャンプしたままジャンボ・ノーズを投げ縄のようにしてサンダーの体に絡ませる――っ！
……
バゴォ〜〜〜ッ！
あ…あの体勢は〜〜っ!?
そのまま頭をふり上げて捕えているサンダーの体を宙高く放った――っ！
ズワア

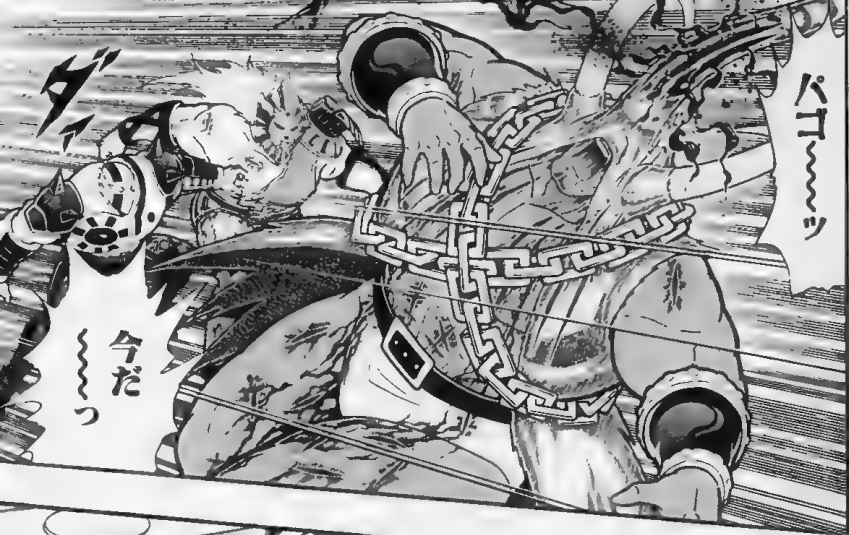
アイス・ロック・ジャイロ――ッ！
あ――っと サンダー 再び マンモスマンの頭上を 不規則な動きで 飛び回る――っ
カキ
マンモスマンの 作り出した 吹雪の冷たい 空気に晒され
カキ
カキ
サンダーの全身が 少しずつ凍りついて いく――っ！
ヌウアア

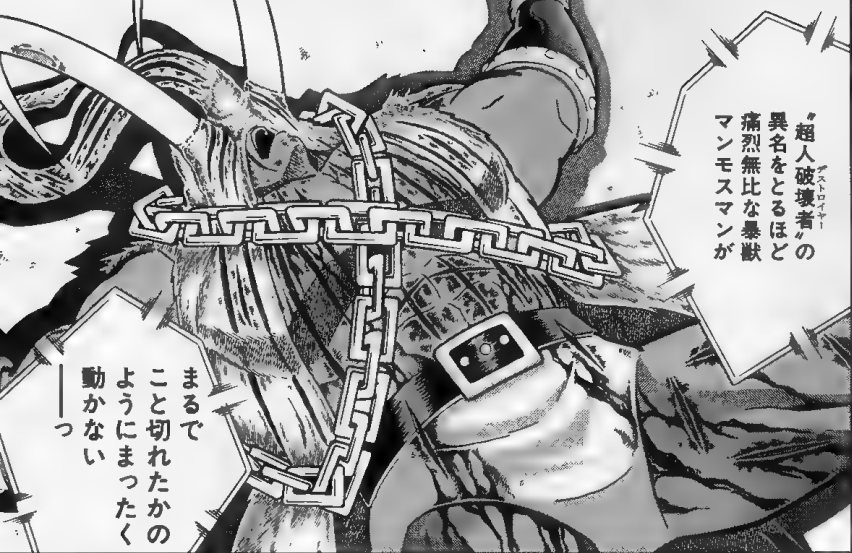
今度こそ
ライトニングと
サンダーの
息の根を
止めてやれ――っ

!

行け――っ
"凍った獅子"よ
――っ!

マンモスマン
氷詰めのサンダーを
ライトニングに
激突させるべく
鼻でその方向へ
導く――っ

このサンダーを完全に
フリージングするには
まわりの氷が薄すぎる
——っ!
あ——っと サンダー
リオンフィンガーを伸ばし
氷から脱出——っ
ああ——っ
……
ジョワジョワ〜〜〜ッ
おまえの
命ともいえる
ジャンボ・ノーズを
潰せば
アイス・ロック・ジャイロは
破れると思っていたぜ
獅子のひと撫せ
——っ!
サンダー
リオンフィンガーで
マンモスマンの
ジャンボ・ノーズを
引っ掻く——!

パゴ〜〜〜ッ
ダッ
今だ〜〜〜っ
おーーっ
ライトニングとサンダー
あお向けに
抱え上げ…
マンモスマンを
ふたりがかりで…
宙へ舞った
ーーっ!

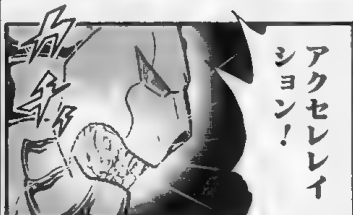
ディザスターズドライバ――ッ!
そのままマンモスマンの体を縦に落下――っ!

〃超人破壊者(デストロイヤー)〃の
異名をとるほど
痛烈無比な暴獣
マンモスマンが

まるで
こと切れたかの
ようにまったく
動かない
——っ

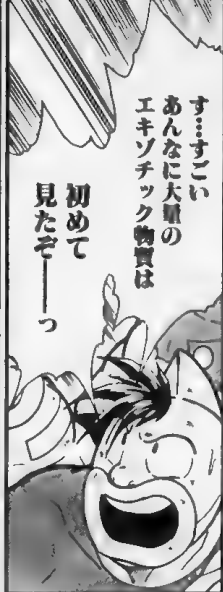
マンモスマーン!

ノーズ・
フリージングさえ
封じてしまえば…

オレたちの
加速能力(アクセレレイション)も

復活…

今から面白い
見せ物を
披露して
やるぜ〜〜〜っ

オレたちの体から
放出される
エキゾチック物質は
こういう使い方も
あるんだーーっ

今からサイコーの見せ物を披露してやるぜ——っ！
あ——っと"世界五大厄"頭部の鍵穴より
大量のエキゾチック物質を噴出させながら宙高く舞う——っ
第243話
襲いくる"第6の災厄"!!
ジョワジョワ〜〜〜ッ
ヌワヌワ〜〜〜ッ

す…すごい
あんなに大量のエキゾチック物質は
初めて見たぞーーっ

グム〜〜〜ッ

モア
モア
モア
エキゾチック物質が
ウォーキューブから
トーナメント
マウンテンの頂上部へと
上がっていくぞ──っ

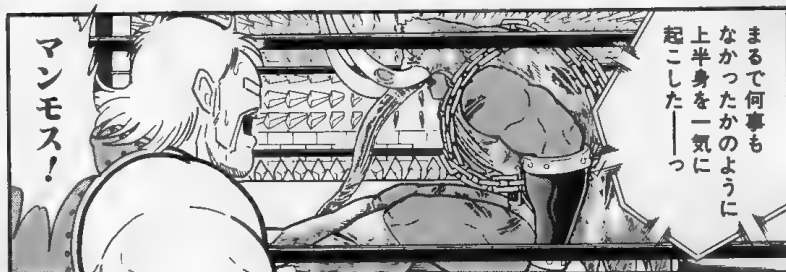
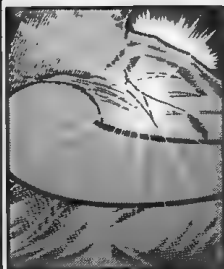
頂上部まで
噴き上がった
エキゾチック物質…
そこから
背後に聳える
富士山に向かって
流れていくーーっ
ふ…
富士山!?
ウラーーっ
ど…どうした
カオスーーッ
ガク
しっかり
しろーーっ
ま…まさか
やつら!
……

カ…カオス…どうしたの?
り…凜子ちゃん オ…オレなら大丈夫
それよりもあのエキゾチック物質…

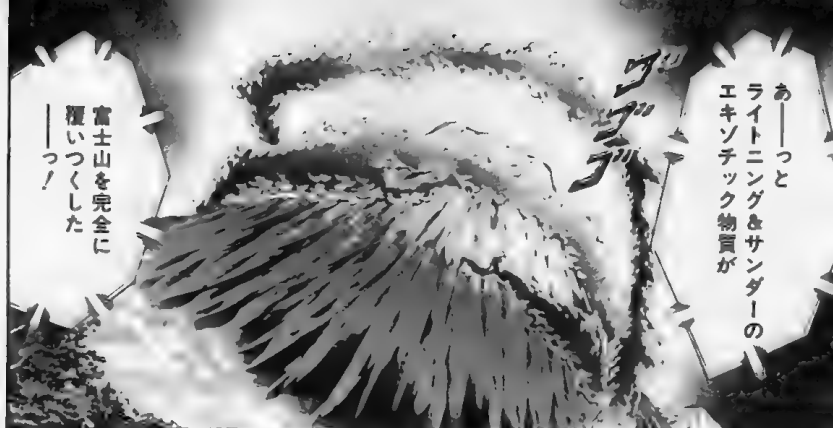
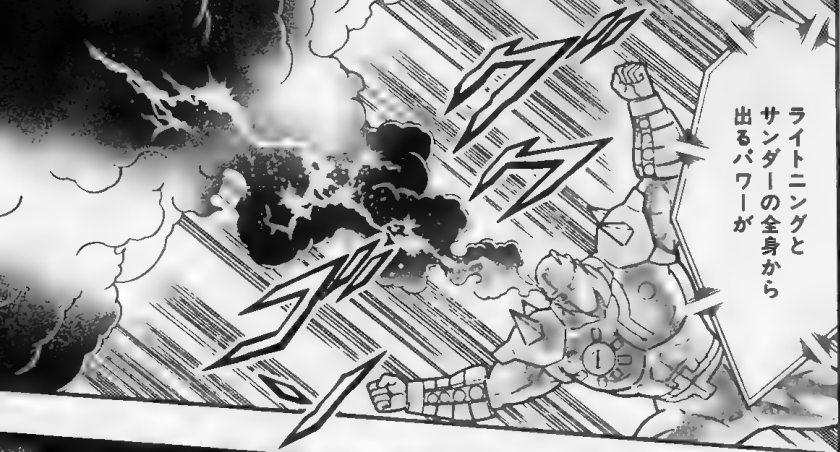
ああ エキゾチック物質が富士山を覆っていく〜〜っ
もうすぐだぁ〜〜〜〜っ!
もうすぐ このリングをおまえらの墓場にふさわしい場所へ変えてやる——っ

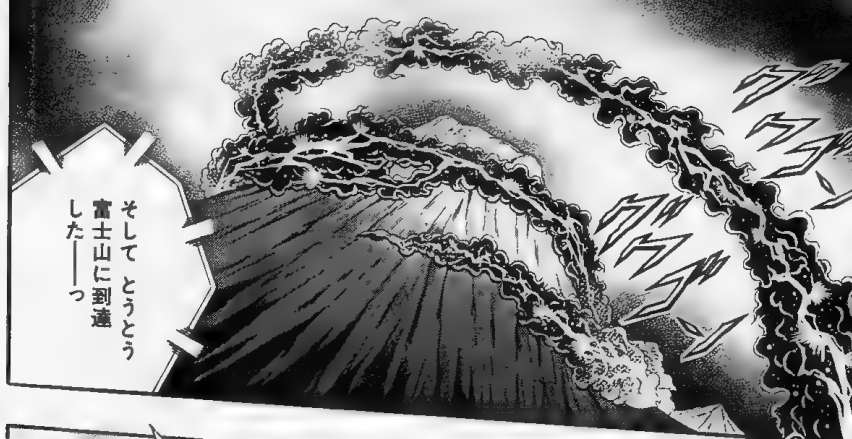
ふたりして
完璧超人界の
中興の祖となる
誓いを思い出せ
——っ!

パ…完璧超人…
ち…中興の祖…

バゴォラ〜〜〜ッ
ガバ
あ――っと
完全失神かと
思われていた
マンモスマン

まるで何事も
なかったかのように
上半身を一気に
起こした――っ
マンモス!

すでに
遅かりしだ!
!

そろそろ用意が
整ったようだ
〜〜〜っ!
モア
モア

シックス・
ディザスタ
——ッ!

ライトニングとサンダーの全身から出るパワーが
エキゾチック物質内にどんどん伝達されていく――っ!
ああ…

そして とうとう富士山に到達した――っ
グワッ ググッ
まぶしい〜〜〜っ
ピ
あわぁぁ〜〜〜っ ライトニングとサンダーは富士山に何をしようというんだ〜〜〜っ
ふ…富士山が発光した――っ！

ヌゥワラーーッ！
ジョワアアーーッ！
院長 アリサさんの心肺機能が戻りません！

ヴィーーン
PCPS（心肺補助装置）にも負担がかかりすぎます
ヴィーーン
このままさらにカルニゲン投与だ！
ハイ！

ドォーーン
ドォーーン
なんだ!? 緊急の手術中だというのに！

ドォーーン
ドォーーン
開けてください！
やめんか〜〜っ 娘をこんな目に遭わせた上まだ おまえは面倒をかけようというのか〜〜っ
開けてください
バッ
かくなる上は…
うわっ

キャアアーーッ
すみません 手荒なマネを いたしまして
いくらアリサさんの 夫とはいえ手術の 邪魔をすることは
正義超人として 取る行為とは 思えないな ロビンマスクくん

私のもっとも大切な男のい…命の欠片です！

い…命の欠片…

し…しかし院長
それはあまりに
危険かと

医療は
冒険では
ありませんよ!

すべての責任は
ワタシが取る!

ゴゴゴ
おお〜〜っ！
富士山が
ゆっくり回転
してる――っ！
な…何〜〜っ

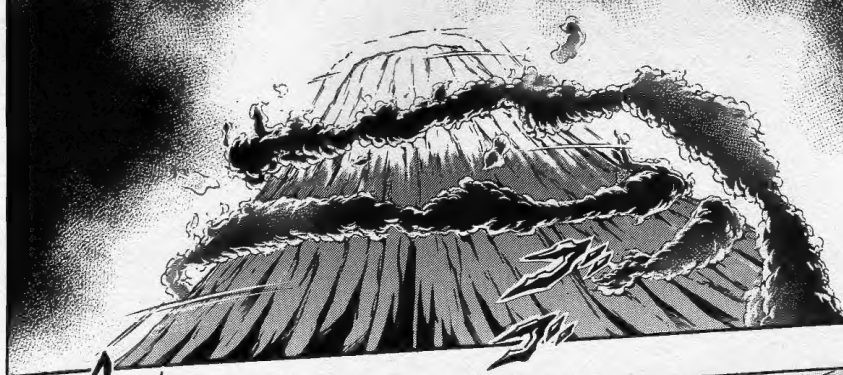
こ…これは一体何事じゃあ〜〜っ
そうだ…やつらのシックス・ディザスターのパワーによるものだ
ヌグワアアーーッ
これはライトニングとサンダーのエキゾチック物質のパワーによるものなのか〜〜っ
ジョワアアーーッ

ふ…富士山の回転が…
と…止まった

あ――っと富士山が大爆発を起こした――っ

キャア

富士山山頂より吹き出す岩石の一部が

トーナメントマウンテンの裏側に激突する――っ！

そして 今まさに
熱闘の真っ最中の
"世界五大厄"vs
"新星・ヘル・イクスパンションズ"のいる
ウォーキューブの
側壁に穴を
あけた――っ!
グオオ
パゴオ
キン肉マンII世 究極の超人タッグ編㉒/完

■週刊プレイボーイ・コミックス■

キン肉マンⅡ世

究極の超人タッグ編22

2010年6月23日　第1刷発行

著者　ゆでたまご

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050　電話　東京03(5211)2651

発行人　鬼木真人

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050　03(3230)6371(編集部)
電話　東京　03(3230)6191(販売部)
03(3230)6076(読者係)

Printed in Japan

印刷所　凸版印刷株式会社

ISBN978-4-08-857505-6 C9979